



桐朋学園音楽部門
TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC

2027



 桐朋学園音楽部門
TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC

2027

目次

プロローグ	3
朋と深く	6
朋と広く	8
学長・高校部長メッセージ	10
News	12
桐朋の学び	
ピアノ専攻	15
弦楽器専攻	16
管楽器専攻	17
打楽器専攻	18
ハープ専攻	19
古楽器専攻	20
声楽専攻	21
作曲専攻(創作)	22
作曲専攻(MSD)	23
指揮専攻	24
ミュージコロジー専攻	25
カリキュラム	26
指導陣	28
特別レッスン	32
桐朋生のキャンパスライフ	
桐朋生の1日	35
活躍する桐朋生	38
コンサートのスケジュール	40
キャンパスガイド	42
桐朋生の進路・進学	
高校卒業後の進路	45
大学卒業後の進路	46
留学について	47
大学院への進学	48
特待生・奨学金制度	49
入試情報	50
アクセスマップ	52



朋と深く、
朋と広く。



いい音楽ってなんだろう。
自分らしい音ってなんだろう。
どうして感動するんだろう。



音楽には、答えがない。
だからこそ、わくわくしてしまう。

世界を知れば、感覚が澄んでくる。
誰かの音楽を知れば、自分の音楽がみえてくる。
どうしても、もう一度音を重ねたくなる。



音楽の本質に近づく伝統のカリキュラムと、
あなたらしく居られる自由な文化。



世代も専門も超えて刺激しあえ
音楽家たちとの出会い。
すべてが、自ら答えを探す力になる。



ここは、そんな音楽が
好きでたまらない人たちの場所です。



さあ、果てなき探究へ。



Philosophy

朋と深く

自らを鍛え、師と学び、 仲間と響く

桐朋学園は、実技レッスンやアンサンブル、ソルフェージュなどの基礎教育を大切にしながら、音楽をとことん深めていく場です。音楽の道には、黙々と練習に打ち込む孤独な時間と、師と真剣に向き合う1対1のレッスン、さらに仲間との共演や対話を通して切磋琢磨する時間のすべてが欠かせません。そうした重なり合う学びの中で技術が高められ、感性は磨かれ、やがて新たな視点や表現が芽生えていきます。唯一の正解は存在しない音楽だからこそ、自らの探究と仲間との学びを幾度となく重ねながら、本質に迫ろうとし続ける——それが朋とともに歩む深い学びです。



開かれた学びの場で 個性を伸ばす

【専攻実技】

すべての専攻において、原則として週1回60分の個人レッスンが行われ、高校から大学、大学院まで、同一教員による継続的な指導を基本とします。実技試験は年2回行われ、コンサートホールでの卒業試験は一般公開されます。内外の著名な音楽家を招聘して行う公開レッスンや公開講座、マスタークラスなど、研鑽の機会も多く用意されています。



響きの細部を捉える 「耳」をつくる

【ソルフェージュ】

ソルフェージュ教育は、桐朋建学のルーツといえるものです。高校と大学初級では、週2回の授業で基礎力の定着に十分な時間をかけ、大学中級以上では、教員の個性と専門性がより際立つ講座を展開します。基礎を重視する指導がその後の大きな成長を促し、音の表情の細部を余さず捉え、分析する耳を育てます。



音楽家として 必要な理論を身につける

【音楽理論】

音楽理論を学び、音楽の構造や手法を知ることで、一つひとつの音の意味を正確に捉えること、音楽を言語のように組み立てることが可能になります。音楽理論に精通することで得られる作品に対する深い理解は、音楽表現の純度を高め、バランス感覚を鍛えます。それが聴衆に感動を与える音楽を生み出します。



仲間とともに 音楽を創り上げる

【室内楽・二重奏ソナタ】

履修希望者は自主的にグループを編成し、年度初めに申請します。3人以上であれば楽器編成に特別な制約はなく、室内楽と2台ピアノでは高校生と大学生がグループを組むこともできます。年間10回以上のレッスンを経て年度末試験を受け、成績優秀なグループは翌年度の春に開催される室内楽演奏会に出演することができます。



Philosophy

朋と広く

深い探究の先に広がる 新しい視野

仲間とともにひとつのことを深く追い続けるからこそ、その先に新しい文化や価値観との出会いが生まれ、広い視野が拓けていきます。桐朋では演奏技術や作曲技術の習得にとどまらず、英語で音楽学を学べる授業や、映画やアニメーション、ミュージカルなどの舞台芸術と連携して取り組むサウンドデザインなど、音楽を取り巻く領域での学びの環境を整え、学生一人ひとりの探究を支えています。音楽の本質に迫ろうと積み重ねてきた歩みは、現代社会とのつながりの中で変化し続ける音楽の領域にも生かされ、新しい可能性を切り拓く力となります。そこから、未来の音楽文化を創造する担い手が育まれていきます。



伝統のオーケストラ教育で 合奏技術を磨く

【オーケストラ】

オーケストラの授業では、専攻別アンサンブルで合奏技術の基本やオーケストラ・スタディなどを学んだのち、フルオーケストラによる実習に進み、基礎から段階的に修得します。これらの合奏教育は、高校から大学まで一貫したカリキュラムに沿って行われます。これまでに国内外のオーケストラに在籍する楽団員を多数輩出しています。



2つの専攻で キャリアの幅を広げる

【副専攻】

副専攻は、主専攻以外の実技を主専攻同様に学ぶことのできる制度で、大学生を対象としています。希望者は試験を受け、合格すれば大学1年次から3年次のいずれからでも受講できます。レッスンは週1回60分。4年次には卒業試験があり、修了要件を満たせば「副専攻修了証」が授与されます。



興味を育て 可能性を広げる

【選択副科】

在籍年次に関わりなく高校生から大学生まで履修可能。専攻以外の実技レッスンを受講することができます。レッスンは週1回30分（声楽は20分）。積極的な学びが視野を広げます。なかでも本学の副科指揮は、優れた指揮者を多く輩出していることで知られています。専攻実技同様の充実した教育が、新たな可能性を拓きます。



文化の担い手としての 多角的な視点を養う

【一般教科】

音楽という芸術・文化を生み出している社会、そして人間そのものを見つめる学びを提供するのが一般教科です。音楽文化を楽しむ人間の感性、演奏する際の身体の動き、曲の背後にある時代や地域、現代において演奏することの意味……。多角的な視点の獲得が、豊かな感性、幅の広い表現を支えます。

3つのポリシー【ディプロマ・ポリシー】 【カリキュラム・ポリシー】 【アドミッション・ポリシー】

はこちらをご覧ください。





伝統が変える変革 音楽が切り拓く新しい未来へ

学長
メッセ
ージ

基礎の上に新しい学びを 創造と変革に挑戦する

2024年に本学は創始者の一人、齋藤秀雄先生の没後50年を迎え、記念コンサートを開催いたしました。この節目を通じて、本学が培ってきた実技やアンサンブル教育、そしてそれを支えるソルフェージュや音楽理論の教育の重要性を再認識し、継承・発展させていく使命を痛感しています。一方で、人口減少やテクノロジーの発展など、社会が急速に変化するなか、私たちもその変化に適応し、これからの音楽文化を創造していく責務がございます。

2025年度より本学では、従来の音楽学専攻を「ミュージコロジー専攻」に改称し、英語で学ぶ科目を充実させ、演奏に加えて、社会の中で音楽を生かすための実践の場を提供します。また、

学長 | 辰巳 明子

ヴァイオリンを、鷺見三郎、齋藤秀雄、海野義雄の諸氏に師事。1966年、桐朋学園大学在学中、日本フィルハーモニー交響楽団と共演してデビュー。同大学を首席で卒業後、文化庁在外芸術家研修員としてベルリンに留学。サシコ・ガブリロフ氏に師事。イサン・ユンや三善晃などの作曲家より楽曲の献呈を受ける。国立ベルリン芸術大学講師を経て、桐朋学園大学にて主任教授、副学長を歴任。2022年学長就任。世界各地の音楽大学で招聘教授としてマスタークラスを行い、数々の国際音楽祭にて指導。日本音楽コンクールをはじめ、20を超える国際コンクールの審査員を務めている。

作曲専攻に「Music and Sound Design」を新設し、映画やアニメーション、デジタルアートなど他分野との共同制作のための作曲やサウンドデザインを学べる環境を整えました。これにより、次世代の多様な音楽の担い手を育成します。いずれも、桐朋が続けてきた音楽の基礎教育の上でこそ成り立つものと考えております。

音楽への深い情熱が 未来の音楽人をつくる

世界が大きく変化しようとも、音楽とことん向き合い、追究してきた桐朋学園は、音楽への深い理解に加え、音楽を取り巻く社会を広く学ぶ場として、未来の音楽文化を創造する音楽人を輩出する学園であり続けます。皆さまと新たな音楽の可能性を探ることができる日を心待ちにしています。

学びの柱となる「聴く力」

「良い耳をしている」。これは桐朋の奏でる音楽について語る際、良く聞く言葉です。桐朋はどのようにして、「良い耳」を育ててきたのでしょうか。

終戦直後の1948年、市ヶ谷に「子供のための音楽教室」が誕生しました。この小さな教室から、音楽部門の歴史が始まります。子どもたちはそこで、「ソルフェージュ」と「アンサンブル」に出会いました。この2つの柱は、まさに「音を聴く」行為そのものであり、建学の精神として、大きく実を結んでいくこととなります。

そして1952年、教室生が続けて音楽を学べるように、既にあった「桐朋女子高等学校」に、男女共学の音楽科を併設しました。その3年後には、高校生の進学先として短期大学（後の4年制大

高校部長 | 森山 智宏

1977年生まれ。桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科を経て、同大学研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を間宮芳生の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール（一般の部）第1位。ピアノデュオ瀬尾久仁&加藤真一郎、東京混声合唱団、日本演奏連盟、指揮者山田和樹氏、プリムローズ・マジック、カワイ出版、音楽之友社等より委嘱を受け、国内外で作品を発表。作曲活動と並行し、ソルフェージュやピアノ教育についての講演と執筆を行う。日本作曲家協議会理事。日本ソルフェージュ研究協議会理事。

学)が設立されます。音楽部門の歴史は、子どもが成長していく過程を描くように、音楽教室、高等学校、大学、大学院、と歩んできたのです。

生徒一人ひとりと 音楽を問い続ける

高校生が活動する仙川キャンパスでは、高校生だけでなく、大学生も音教生もともに学んでいます。それは、音楽部門の歴史が導いた必然でした。その開かれた学びの中で、高校生たちは日々、音楽について問いかけています。そこに安易な答えを見出すことなく、私たちは一人ひとりに向き合いながら、「音楽家の耳」を大切に育てていっています。

「自分の耳が求める音楽」を、桐朋学園の持つ歴史と教育理念の中で、ともに見つけていくことができたらと願っています。

自らの音楽を追求する 「良い耳」を育み

高校部長
メッセ
ージ



Topic 01 音楽学専攻はミュージコロジー専攻へ

21世紀の今、音楽とそれを取り巻く環境は急速に変化しています。その変化に対応した学びを提供するため、音楽学専攻はミュージコロジー専攻へと生まれ変わりました。桐朋の伝統の中で培われたカリキュラムをベースとしながら、英語やマネジメントなど実践的なスキルを養う科目や、より多彩な音楽を扱う講義を新たに加えることで、変わりゆく社会の中で音楽を生かし、音楽とともに歩む道を拓きます。

ミュージコロジー専攻の目的

音楽を社会で生かす方法を学ぶ



演奏会の企画をしたり、コンサートの解説や批評を書いたり、アーティストのマネジメントをしたり……演奏や作曲以外にも、音楽に携わる生き方はたくさんあります。この専攻では、過去から現在までの多様な音楽のあり方を学んだ上で、音楽に関する様々な職業に役立つスキルを磨きます。好きな音楽を思う存分追究しながら、自分の生き方を見つけましょう。

カリキュラムの特徴

英語を身につけ 音楽を幅広く届ける

海外の演奏家を招聘する、インタビューをする、文章の翻訳をするなど、音楽の仕事をする上で英語のスキルは必要不可欠。この専攻では、英語のみによる授業を複数設けて、実践的な英語力を養います。

多様なジャンルの 音楽を研究

今の世界は、多種多様な音楽で満ちています。クラシックに限らず、ポップス、ロック、ジャズ、映画音楽、ゲーム音楽など、多彩なジャンルの講義から、社会にあふれる音楽のあり方を学びます。

実技で音楽への より深い理解を

ミュージコロジー専攻では4年間を通じて副科の実技レッスンを受けることができます。音楽実践を通して、知識だけでなく感性を養い、考えることと感じることの両方から音楽にアプローチしていきます。

専攻開講科目（一部抜粋）

- Introduction to Musicology
- 音楽学入門
- 音楽史Ⅰ・Ⅱ
- アート・マネジメント実習
- エディション研究
- 音楽文献学
- 楽書講読
- ポピュラー音楽史

卒業後の進路先イメージ

コンサートホール、音楽事務所、音楽ライブラリアン、音楽学者、音楽ライター、音楽ジャーナリスト、音楽専門通訳、楽譜出版社、音楽雑誌・書籍編集、放送番組制作会社など。



詳細はWebへ
ミュージコロジー専攻の情報は
本学ホームページをご覧ください



お問い合わせ
ミュージコロジー専攻についてのご相談は、
お問い合わせフォームをご利用ください

Topic 02

作曲専攻 編作芸術コースは Music and Sound Design へ

音楽創作の形は日々変化しており、新たなコンテンツは映像やアートなど、分野を超えて生み出されています。共同制作において、従来の作曲の概念を広げて音を総合的に構成することができる「音」のプロフェッショナルを育てます。

作曲専攻の2つのコース

創作 音楽作品の 作曲技法の習得	Music and Sound Design 他芸術分野との 共同制作での技術習得
-------------------------------	------------------------------------------------------------

Music and Sound Design のねらい

作曲・サウンドデザイン・音響技術を結ぶ



サウンドデザインとは「音を最適に演出すること」です。作品の目的に応じて、音楽・セリフ・環境音・フォーリーなどを組み合わせ、音響空間を創り出す技術です。意識的な音の演出だけでなく、無意識や深層心理に影響を与えることも可能です。また、音色、音域、音量、広がりや奥行きを駆使して音響空間を構成することは、まるでオーケストラ曲を作曲するかのようにながら世界です。

カリキュラムの特徴

制作の基本は 作曲技法の習得から

作曲技術を個人レッスンで学びます。学生の段階に応じた指導を行い、その成果を仲間たちが演奏します。自分の作品が実際に演奏される経験を通して、即戦力としての作曲技術が身につきます。

本格的に学ぶ レコーディング技術

音楽とサウンドデザインを支える重要な領域がレコーディングです。録音の本格的な技術を経験豊かなエンジニアから学びます。素材の録音や高度な編集技術、ミックスなども行います。

学校の垣根を 越えた共同制作

授業で学んだ技術を作品の制作で実践します。桐朋学園芸術短期大学とは演劇・ミュージカル・ダンスを、武蔵野美術大学映像学科とはアニメーション作品を共同で制作しています。

専攻開講科目（一部抜粋）

- エクリチュール
- オーケストレーション
- サウンドデザイン
- レコーディング・PA
- 音楽テクノロジー
- ジャズとポップス理論と実習
- 日本の伝統音楽
- 世界の民族音楽

卒業後の進路先イメージ

映像、舞台、ゲームの作曲家・サウンドデザイナーなど。これまでも桐朋学園出身の作曲家や放送局のサウンドデザイナーが生まれており、業界との連携を強化していきます。



詳細はWebへ
Music and Sound Designの情報は
本学ホームページをご覧ください



お問い合わせ
Music and Sound Designについてのご相談は、
お問い合わせフォームをご利用ください

Studies at Toho

【桐朋の学び】

桐朋の教育は、個の尊重が大きな特色です。

のびやかな学習環境が、個性の発露と個人の自立を促します。

音楽への情熱を支えに日々模索し、自ら道を切り拓き、

目指す音楽を創り出していく強い精神力を育みます。

ピアノ専攻	15	作曲専攻(創作)	22
弦楽器専攻	16	作曲専攻(MSD)	23
管楽器専攻	17	指揮専攻	24
打楽器専攻	18	ミュージコロジー専攻	25
ハープ専攻	19	カリキュラム	26
古楽器専攻	20	指導陣	28
声楽専攻	21	特別レッスン	32



Column

フルオーケストラを体感するための舞台

桐朋学園宗次ホールはホール大きさに対して舞台を広く設け、フルオーケストラで学ぶことを最優先に設計。フルオーケストラの響きと役割を、演奏を通して体感してほしいという考えに基づいています。

ピアノ専攻

Piano Course



国際的に活躍するピアニストを数多く輩出しているピアノ専攻。ソロはもちろん、室内楽や伴奏などの様々な演奏形態を、レッスンや授業を通じて体系的に学ぶことができます。アンサンブルの機会が豊富にあることも魅力のひとつ。高校生から大学院生まで、個性ある仲間たちと楽しみながらも妥協せずに音楽を創っていくことは、何にもま

さる大きな喜びです。また、海外の著名な音楽家による特別レッスンや公開講座、学内外の演奏企画、ソロやコンチェルトのコンペティションなど、多彩なプログラムとチャレンジの場を用意しています。本学での学びを通して、一生音楽を愛し、それを人々に伝えることができる豊かな感性と魅力あるピアニストを育てていきます。

Focus

豊富な演奏の機会 自分に相応しいレパートリーを確立

「桐朋 木の香りコンサート」や学内のコンペティションなど、多くの演奏機会に恵まれています。また、年2回の試験課題は、様々な時代や様式の作品を網羅。ピアノ協奏曲も含めた多様な楽曲を学ぶことで、膨大なピアノ作品のなかから自分に相応しいレパートリーを確立できるよう工夫されています。

弦楽器専攻

Stringed Instrument Course

〈ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス〉

管楽器専攻

Wind Instrument Course

〈フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォン/ホルン/トランペット/トロンボーン/ユーフォニウム/テューバ〉



弦楽器専攻では、自由で開かれた校風のもと、個性を大切に伸ばす教育を実践しています。経験豊富な指導陣が個々の可能性を導き出し、スケールの大きな演奏家へと育てます。さらに、国内外の音楽家を招聘して行うマスタークラスをはじめ、貴重な学びの場を多数用意。室内楽やオーケストラなど、アンサンブルのカリキュラムも充実

しています。アンサンブルの授業やレッスンでは、合奏のための技術や奏法、リハーサルの方法などを基礎から指導。学年や専攻の異なる仲間とともに一つひとつ音を創り上げていく時間は、豊かな表現力を養うための糧となります。それは同時に、助け合い、協力し合う仲間同士の一体感が生み出される特別な経験となるでしょう。

Focus

実践的なプログラムで オーケストラを基礎から学ぶ

高校と大学のいずれから入学しても、初めに楽器別の合奏でアンサンブルの基礎を学びます。高校3年次から大学までの5年間、または大学からの4年間は、高大混成のオーケストラで合奏の技術を基礎から修得。基本的なレパートリーから高難度の作品まで、著名な指揮者のもとで段階的に実習します。

高校から大学までの期間は、身体的にも精神的にも大きく成長する大切な時期。それは管楽器を学ぶ上でも重要な意味を持ちます。実技指導では、個性を尊重するとともに、演奏の基礎となるソルフェージュを重視。徹底した基礎教育は、技術を向上させるだけでなく音楽そのものへの理解を深め、自ら探究する力を育みます。さらに、

オーケストラをはじめ、木管・金管五重奏など各種編成のアンサンブルのための講座を用意。多様な形態のアンサンブルを効率良く学び、学内外で行われるコンサートへの出演によって、管楽器奏者にとって大切な合奏の技術を実践的に修得します。音楽家として多くの経験を重ねてきた指導陣が、学生たちの表現への意欲を引き出します。

Focus

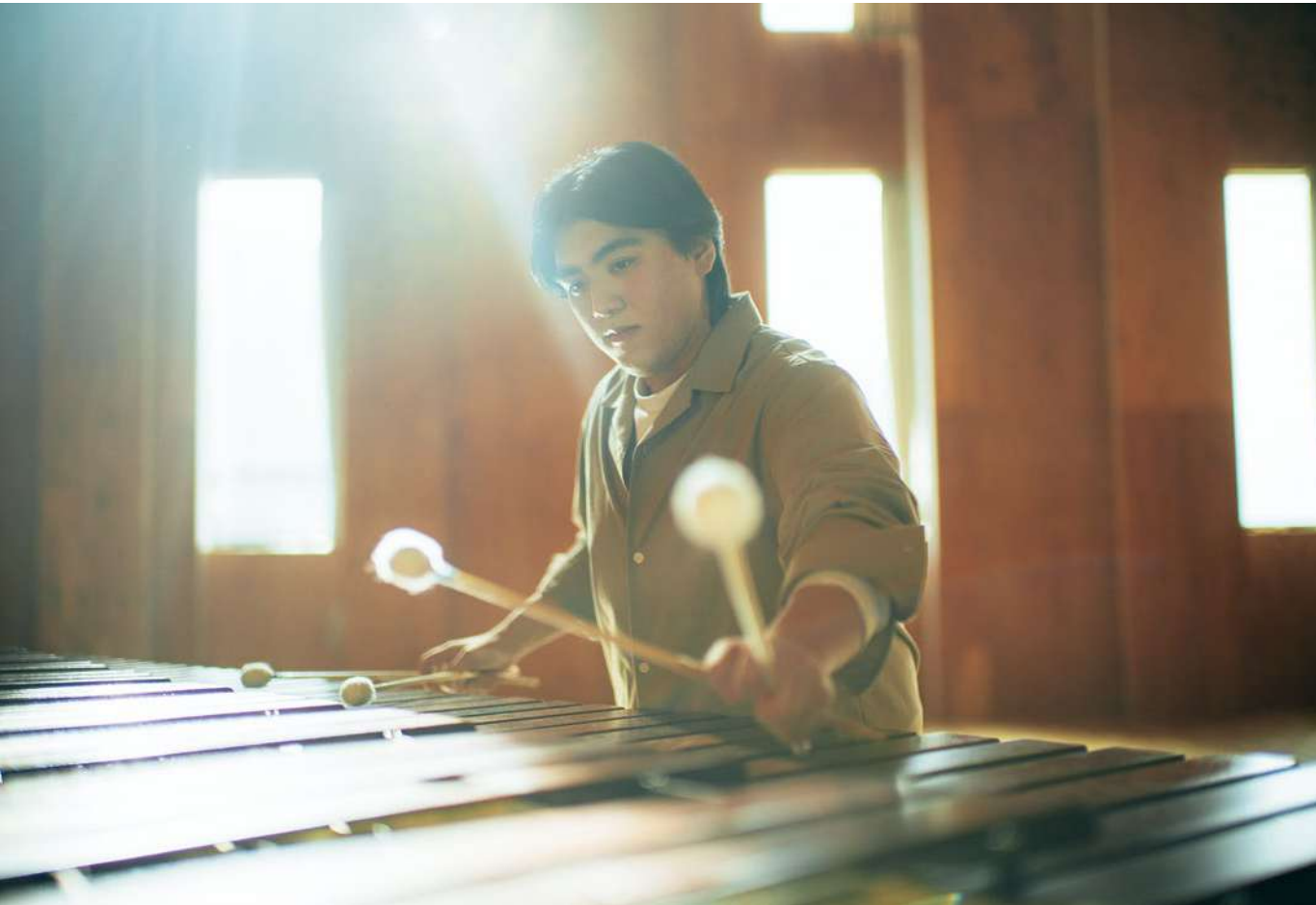
多彩なアンサンブルを学び、 楽器への理解を深める

編成や規模の違うアンサンブルを学ぶことで各楽器の特性を理解し、編成ごとに異なる演奏や表現方法を身につけます。プロオーケストラさながらの意欲的なプログラムで年間7~8回のコンサートを行い、一流の指揮者やソリストと共演。全専攻生がオーケストラの一員としての演奏を経験します。

打楽器専攻

Percussion Instrument Course

〈パーカッション／マリンバ〉



打楽器の種類や形態は多種多様で、音楽表現も多彩です。打楽器奏者は、高い専門性と同時に広範な知識や経験を求められます。このため本学では、パーカッションとマリンバのどちらかを主専攻として選択しながら、もう一方も学ぶことのできるダブルレッスン制度を設けています。実技レッスンでは一人ひとりと綿密なコミュニケーションを

取り合い、きめ細かい指導で演奏に必要な技術とセンスを基礎から養います。また、オーケストラや室内楽などアンサンブルの機会も豊富で、合奏について基本から体系的に学習します。世界中から学びに訪れる留学生も多く、文化的・人間的な交流の輪が広がることも特徴のひとつであり、音楽界での多岐にわたる活躍が期待されます。

Focus

アンサンブルの経験が奏者としての音を創り出す

パーカッションとマリンバ、2種類のアンサンブルのためのカリキュラムを設置。アンサンブルを通して耳を鍛え、学生・生徒たちの技術力と音楽性の向上を図ります。また、作曲など他専攻生と積極的に交流し、新作初演などの経験を通じて打楽器奏者としての可能性を広げていきます。

ハープ専攻

Harp Course



ハープの歴史は古く、その音色は何世紀も前から人々を魅了してきました。本学では、日本におけるハープ奏者の活動の場を広げ、その可能性を切り拓いてきた第一人者の指導により、正しい演奏様式とテクニックを学ぶことができます。また、オーケストラや室内楽におけるハープの重要な役割に注目し、ソリストだけでなく、アンサンブル

奏者の育成にも力を入れています。公開レッスン形式で行われるアンサンブルやオーケストラ・スタディの授業では、ハープのための重要なレパートリーを取り上げ、優れたアンサンブル奏者として活躍するために必要な技術と知識を基礎から教えます。ハープ奏者に必要な要素を体系的に指導し、次代を担う演奏家として送り出します。

Focus

他楽器との共演が演奏力・表現力を高める

毎年12月に開催する「ハープアンサンブルの夕べ」は、複数のハープを使ったハープ同士のアンサンブルと、他楽器とのアンサンブル作品で構成するコンサート。専攻生全員が出演します。専攻生が互いに成長を確認する機会であると同時に、他専攻生と共演し交流を深める貴重な機会でもあります。

古楽器専攻

Period-Instrument Course

〈バロック・ヴァイオリン／バロック・チェロ／バロック・オーボエ／フラウト・トラヴェルソ／リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ〉



声楽専攻

Vocal Music Course



20世紀中頃以降、音楽作品を演奏する際にそれが作曲された時代の楽器を使用する解釈が試みられてきました。こうした解釈で使用される楽器は一般的に古楽器（ピリオド楽器）と呼ばれますが、本専攻はこの古楽器を専門的に学びます。レッスンやアンサンブルの授業によって演奏技術を高めるだけでなく、主として17世紀、18世紀の

楽器や演奏法、記譜法などの歴史について研究を深めながら、当時の音楽を現代に甦らせるための方法を修得していきます。近年、古楽器による演奏は19世紀以降のレパートリーも視野に入れるようになり、モダン楽器の演奏家が古楽器演奏の方法を取り入れることもあります。古楽器専攻の重要性はさらに高まっていくでしょう。

Focus

様々なタイプのチェンバロに触れ、探究に合わせて学習する

チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノなどの鍵盤楽器や、バロック・ヴァイオリンやヴィオラ・ダ・ガンバ、フラウト・トラヴェルソやバロック・オーボエなどの多様な楽器の演奏を通して、楽器の構造、歴史、ピッチ、音律などその時代ならではの音楽習慣を学習し、多角的な考え方を身につけます。

※古楽器専攻は大学のみです。

自らの身体そのものが楽器となる声楽。正確な発声法と呼吸法、充実したソルフェージュや語学教育が、声楽家としての基礎を形づくれます。高大一貫の専門教育で音楽家に必要な知識と教養を身につけ、高い能力と個性を併せ持つ優れた演奏家へと成長する力を蓄えます。オペラクラスでは、歌唱や演技はもちろん、舞台を創り上げる

工程全般を学びます。現役のオペラ歌手が助演で参加することもあり、プロの役づくりや本番までの準備の方法などを間近に見ることができます。高度なアンサンブルや合唱の授業、海外からの招聘講師による公開レッスンなども充実。器楽専攻生との交流は、音楽を愛する心を育むだけでなく、一生の宝となるでしょう。

Focus

5カ国語によるディクショで正しい発音を学ぶ

言葉の発声法を学ぶディクシオンの授業が充実。イタリア語、ドイツ語、フランス語、日本語、ロシア語によるカリキュラムを用意。歌曲などを教材に、言語に合わせた正しい発音や発声法など、歌うための基礎的な技術を身につけます。様々な言語に触れることで、自分に合う分野や方向性を模索していきます。

作曲専攻〈創作〉

Composition Course

作曲専攻〈MSD〉

Music and Sound Design Course



「桐朋の作曲」が目指しているのは、桐朋だけのトボス（場所）を提供すること。心地よい緊張感が、さらなる高みに挑戦する背中を押してくれます。高校・大学ともに、作曲家としての基本的素地を育む作曲実技レッスンに加え、ピアノ演奏も重視しており、「作曲理論ピアノ」において実技同様、週1回60分のピアノのレッスンを受けることがで

きます。多彩な指導陣が意欲的にテーマを設定して開設される音楽理論や作曲法演習を自由に受講することが可能。年1回の「作曲作品展」、学内での作品試演会、国内外の著名な作曲家・演奏家を招いての公開講座や集中講義など、室内楽・吹奏楽・合唱・管弦楽をはじめとする学内外での作品発表の機会が数多く設けられています。

Focus

多くの個性と音楽で交流し、友情を育む

本学には、現代音楽に関心があり、現代作品の演奏に積極的な演奏専攻生が数多くいます。作曲専攻生と演奏専攻生との距離が近く、学生同士で試演会を企画するなど、高校・大学の区分なく自作品を音にする機会に恵まれています。様々な専攻の友人たちは、卒業後も助け合える大切な仲間となります。

MSD(Music and Sound Design)コースでは、作曲・サウンドデザイン・録音という3つの柱を基盤に、音楽と音響を総合的に設計する力を育てます。アニメーションや映画、身体表現など多様な分野との共同制作を経験し、作品の世界観を音で立ち上げる実践的な感性を磨きます。「音楽制作の基礎は楽器と声」という理念のもと、ソロ

からオーケストラまで幅広い書法を学びつつ、アナログとデジタルを往還する創作技術を身につけていきます。完成した作品は、国内でも屈指の演奏技術を持つ学友によって演奏され、実際の制作現場を想定した形で実習を重ねます。表現の質を高めながら力を伸ばし、創作が実演へと結びつくプロセスを体験できる点も本コースの特色です。

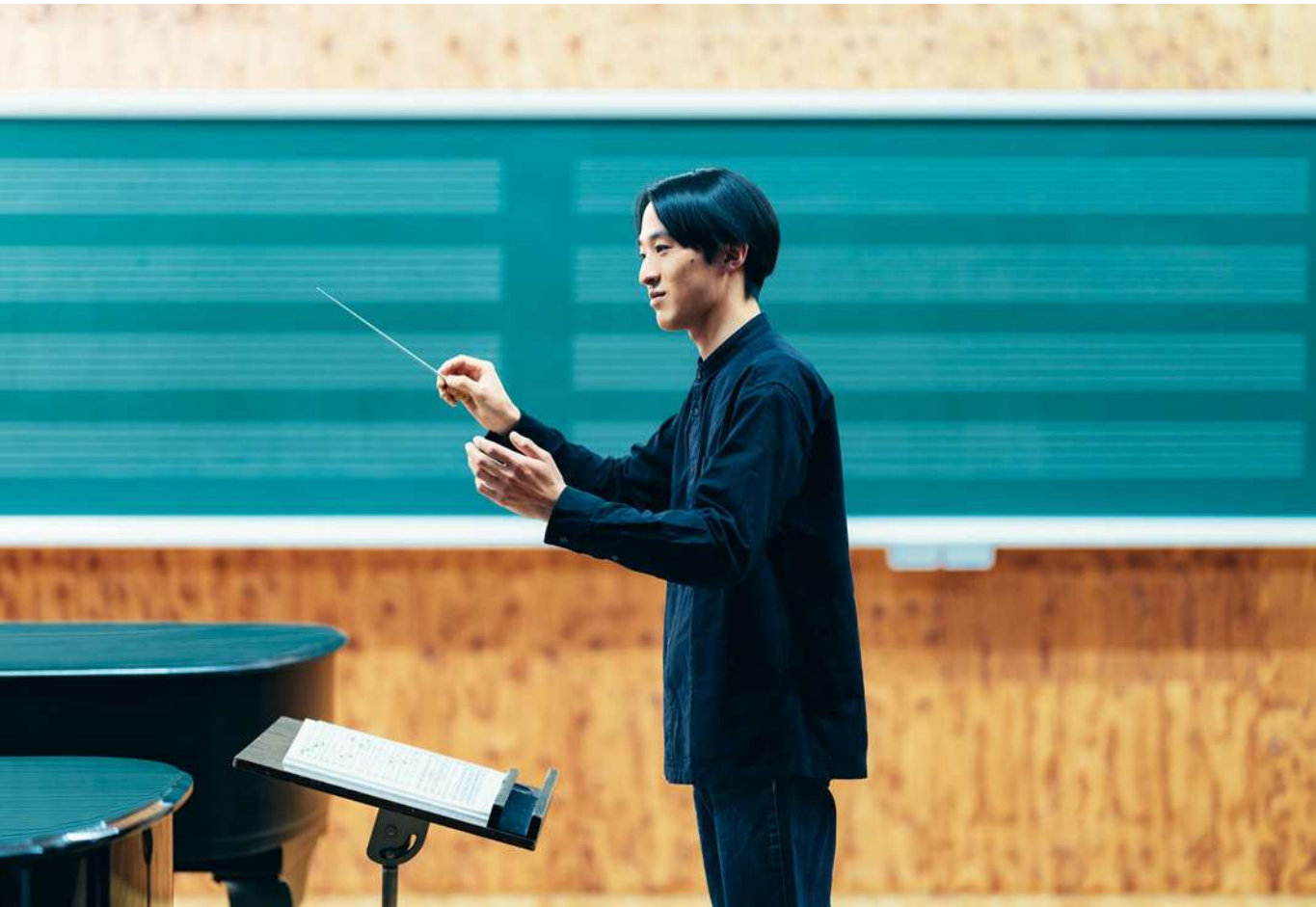
Focus

表現ジャンルを越える創造の現場

映像や舞台、身体表現など異なる分野の学生と協働し、音が生み出す表現の可能性を探りながら制作に取り組みます。多様な視点が交差する環境が創造力を広げ、調布キャンパスの新設スタジオでの実践とともに、多角的な創作力を育成します。

指揮専攻

Conducting Course



指揮者は、演奏の現場で起こる様々な問題を円滑に解決する高い能力が求められます。指揮者は音を出しません。しかし、音楽への理解を深め、現場の奏者たちと良好な関係を築くためには、ソルフェージュや音楽理論などの基礎を徹底して身につけ、ピアノや副科実技のレッスンなどで楽器演奏にも習熟することが不可欠です。優れた演奏

家でもある器楽専攻生たちとの交流は、指揮者には欠かせないコミュニケーション能力や積極性を養います。本学創始者の一人、齋藤秀雄先生から始まる桐朋の指揮の伝統を受け継ぎ、発展させてきた指導陣による教育と、オーケストラの生の音に日常的に触れることのできる環境は、指揮を学ぶ上で大きな魅力となります。

Focus

演奏会のリハーサルを見学し、 生きた音楽を学ぶ

オーケストラなどのリハーサルを見学することは、著名な指揮者や演奏家たちのリハーサルでのコミュニケーションや練習プロセスを間近で見て学習する良い機会となります。特に、オペラを一から創り上げる現場の空気を体感することは、将来、指揮者として活躍するための貴重な経験となるでしょう。

※指揮専攻は大学のみです。高校で作曲を専攻した生徒は大学進学時に指揮専攻を希望することができます。

ミュージコロジー専攻

Musicology Course



ミュージコロジー専攻では、音楽やその歴史について考え、それを言葉として伝える方法、そして音楽を社会で生かす方法を学びます。音楽史や音楽理論、ソルフェージュなどの基礎を身につけながら、クラシックだけでなく民族音楽、ポップス、ロック、映画音楽など多様な音楽について学び、4年次には自身で選んだテーマについて卒業論文

を書きます。音楽に関わる仕事に必要なスキルを身につけるために、英語による授業やアート・マネジメントが必修として設置されているのも大きな特徴です。また、自分の好きな楽器などを選べる副科実技を4年間受けることができるため、実技と学問をしっかりと両立しながら自分の進むべき道を考えることができます。

Focus

自由で開かれた学習環境のもと、 自身の生き方を探る

専攻の必修科目には、少人数のゼミ形式のものが多くあり、卒業論文を書く際は担当教員が毎週1時間、1対1で指導を行います。そのため教員と学生の距離が近いのが特徴。アットホームな雰囲気のなかで自由に対話しながら、この先どう音楽と向き合っていくのか、ともに考えていきましょう。

※ミュージコロジー専攻は大学のみです。

カリキュラム

本学は、1コマ90分という時間割設定と、授業開講期間、試験期間、文化祭などの年間予定を高大で共有することで、高校から大学までの一貫性を重視したカリキュラム編成を実現しています。学生・生徒の能動的な学びを引き出す豊富な選択科目、学習効果を高めるレベル別少人数授業なども大きな特色です。ここでは、そうした特色を生かした科目を抜粋しています。カリキュラム全般については本学ホームページに掲載しています。

詳細はWebへ



高校

大学

専門科目

ソルフェージュ

必修科目。高大ともにグレード別少人数編成によるクラス授業を行っています。個人のグレードは所定の試験を経て一定期間ごとに更新され、常にレベルに合った指導を受けることができます。大学中級以上は多彩な講座のなかから自由に選択することができます。

和声・音楽理論

和声は習熟度に応じてクラスを細かく編成しています。高校入学者は大学1年次までの4年間、大学入学者は2年次までの2年間を必修とし、その後は応用和声を学びます。音楽理論は1年目に基礎を学んだ後、桐朋の特色ともいえる多彩な授業から選択して履修することができます。

音楽史

高校では2・3年次に、大学からの入学者は1年次に西洋音楽史の通史を必修で学びます。大学ではそれに加えて、鍵盤音楽史、管弦楽史などのジャンル別音楽史や、それぞれの教員が自由にトピックを設定する「音楽史各論」でさらに深く音楽史を掘り下げることができます。

語学科目

英語は高校3年間必修です。高校2年次からは独・仏いずれかを履修することができ、3年次で取得した独・仏の単位は桐朋学園大学の単位として認定されます(高大連携科目)。大学では英・独・仏・伊の各国語から1カ国語以上を選択します。

室内楽・二重奏ソナタ（2台ピアノを含む）

自由選択科目。室内楽や二重奏ソナタのレッスンを通年で受けることができます。年次による編成の制限がある以外にメンバー構成の制約はなく、高校生と大学生でグループを編成することも可能です。指導教員を2名まで希望することができます。

専攻別アンサンブル

弦・管・打・ハープ・古楽器・声楽専攻生を対象とする授業。対象年次は専攻ごとに異なります。楽器専攻生は専攻楽器同士での合奏、または異なる楽器との合奏を通じて、声楽専攻生は合唱を通じて、アンサンブルの技術と表現を基礎から学びます。

オーケストラ

高校3年次の弦楽器専門生と大学の弦・管・打・ハープ専攻生を対象とする通年授業。高校生と大学生とでひとつのオーケストラを編成し、指揮者のもとでのオーケストラ演奏を学びます。その後、演奏会ごとに設置されるオーケストラでさらに経験を積みます。

一般教養科目

特色ある講座のなかから、学生・生徒が自身の興味や必要に応じて選択し、履修することができます。人文科学、社会科学、自然科学、身体活動の各分野において、音楽家をめぐる今日的な課題について多角的に考えるための講座を設置しています。

高校からの入学者

大学からの入学者

共通

	桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学)			桐朋学園大学 音楽学部			
	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	4年次
専門科目	ソルフェージュ						
	和声I	和声II	和声III	応用和声II	応用和声I		
				和声法I	和声法II		
	音楽理論基礎	音楽理論応用		音楽理論(分析)			
				音楽理論概論		※和声法IIの単位取得者	
		音楽史					
				音楽史概説			
	専攻実技						
	副科実技						
				副専攻			
室内楽	室内楽・二重奏ソナタ(2台ピアノ含む)						
専攻別アンサンブル							
			オーケストラ				
語学科目	国語			日本語表現			
	英語						
		ドイツ語/フランス語(初級)		ドイツ語/フランス語(中級)			
				ドイツ語/フランス語(初級)			
			イタリア語				

Teacher-training course

▶ 教職課程

卒業単位の他、教職課程に定められた単位を修得することによって、右記の教員免許状を取得できます。教員免許状を取得するためには、教職に関する科目の他、学外での介護等体験や教育実習などの実習を含む単位が必要となります。本学学生は積極的に教職課程を履修しており、約7割の学生が卒業時に教員免許状を取得しています。

中学校教諭一種免許状(教科:音楽)

高等学校教諭一種免許状(教科:音楽)

※大学のみ

指導陣 2026年度

学長	辰巳 明子	学生部長	合田 香
理事	姫野 雅子	図書館長	安田 和信
学部長	沼野 雄司	高校部長	森山 智宏
研究科長	清水 和音	音楽教室部長	新井 博江
教務部長	杵鞭 広美		



実技等指導陣

※ 教員名の右上の印は以下の職名などを表します。
 * 大学専任教員 ★ 高校教諭 ◇ 特命教授 ○ 特任教授 ○ 特任講師
 ※ 副科として掲載している教員は、当該専攻の副科実技のみを担当します。

ピアノ

新井 博江* (主任)	上野 久子◇	田部 京子○	大西 真由子	高田 匡隆	廻 由美子	【副科ピアノ】
有吉 亮治*	海老 彰子◇	玉置 善己○	大伏 啓太	高橋 多佳子	山崎 牧子	小田 裕之
清水 和音*	岡本 美智子◇	練木 繁夫○	金子 恵	鶴園 紫磯子	吉武 優	佐藤 勝重
中井 恒仁*	山田 富士子◇	村上 弦一郎○	川島 伸達	外山 啓介	吉村 真代	中川 賢一
仲道 郁代*	Emanuel Rimoldi○	若林 顕○	河村 晋吾	奈良場 恒美		中川 朋子
朴 久玲*	青柳 晋○	阿部 美果子	木村 徹	西村 翔太郎		松谷 園子
今井 彩子*	伊藤 恵○	石井 楓子	齋木 隆	広瀬 康		宮木 麻衣
関本 昌平*	須田 眞美子○	入江 一雄	佐藤 彦大	三原 未紗子		
沼沢 淑音*	反田 恭平○	江澤 聖子	島田 彩乃	三輪 郁		

弦楽器

▼ ヴァイオリン・ヴィオラ	辰巳 明子◇	伊藤 亮太郎	戸田 弥生	毛利 伯郎◇	銅銀 久弥	【副科ヴァイオリン】
景山 誠治* (主任)	徳永 二男◇	木野 雅之	豊嶋 泰嗣	上村 昇○	古川 展生	梅津 美葉
神谷 美千子*	原田 幸一郎◇	原田 良治	水谷 晃	宮田 大○	▼ コントラバス	
豊田 弓乃*	堀 正文◇	佐々木 亮	南 紫音	山崎 伸子○	市川 雅典*	
田中 晶子*	漆原 啓子○	篠崎 友美	村上 淳一郎	菊地 知也	吉田 秀○	
石井 志都子◇	惠藤 久美子○	篠崎 史紀	山口 裕之	木越 洋	石川 滋	
今井 信子◇	加藤 知子○	篠原 悠那	▼ チェロ	北本 秀樹	稲川 永示	
磯村 和英◇	久保田 巧○	清水 醜輝	長谷川 陽子*	星 秀樹	星 秀樹	
篠崎 功子◇	清水 高師○	土岐 祐奈	倉田 澄子◇	清水 詩織	本間 達朗	
庄司 紗矢香◇	竹澤 恭子○	鈴木 康浩	堤 剛◇	高木 慶太		

管楽器

▼ フルート	▼ オーボエ	▼ クラリネット	吉野 亜希菜	大津 立史	▼ トランペット	古賀 光
神田 寛明*	崎崎 耕三*	亀井 良信*	▼ ファゴット	小山 弦太郎	長谷川 潤*	▼ ユーフォonium
白尾 彰○	広田 智之○	有馬 理絵	岡本 正之○	茂木 建人	田中 敏雄	佐藤 采香○
倉田 優○	岡 北斗	勝山 大輔	井上 俊次	▼ ホルン	佛坂 咲千生	▼ テューバ
飯島 諒	小野寺 彩子	野田 祐介	佐藤 由起	上原 宏* (主任)	山本 英司	池田 侑太
泉 真由	金子 亜未	芳賀 史徳	武井 俊樹	猶井 正幸○	今井 仁志	久保 和憲
梶川 真歩	高橋 舞	林 裕子	福井 弘康	今井 仁志	豊田 美加	渡辺 功
小池 郁江	最上 峰行	藤井 洋子	▼ サクソフォン	豊田 美加	吉永 雅人	
高野 成之		三井 秀実	武藤 賢一郎○	吉永 雅人		

打楽器

▼ パーカッション	▼ マリンバ	▼ パーカッション・マリンバ
小島 光○	安倍 圭子◇	安江 佐和子○
近藤 高顯○	中村 友子	
渡邊 壮	藤井 里佳	

ハーブ

篠崎 史子◇	井上 美江子	篠崎 和子
--------	--------	-------

古楽器

▼ バロック・ヴァイオリン	▼ バロック・チェロ	▼ バロック・オーボエ	▼ リコーダー	▼ チェンバロ	【副科オルガン】
寺神戸 亮○	Emmanuel Girard○	桐山 温子	古橋 潤一	有田 千代子○	水野 均
丸山 韶	酒井 淳○	▼ フラウト・トラヴェルソ	▼ ヴィオラ・ダ・ガンバ	植山 けい	
		有田 正広○	Emmanuel Girard○	西山 まりえ	

声楽

大橋 ゆり* (主任)	大島 幾雄◇	里中 トヨコ	丹藤 麻砂美	松井 康司	嘉目 真木子	【副科声楽】
腰越 満美*	藤川 泰彰★	篠原 百合乃	塚田 裕之	村上 明子	与那城 敬	北村 典子
宮本 益光*	落合 美和子	園田 真木子	友清 崇	森 麻季		
鈴木 准*	駒井 ゆり子	谷 茂樹	長尾 康世	安井 陽子		

指揮

沼尻 竜典*	増井 信貴○	篠崎 靖男	吉田 行地
尾高 忠明◇	新田 ユリ○	村上 寿昭	

作曲

石島 正博* (主任)	西岡 龍彦○	鈴木 純明	加藤 真一郎*	▼ 作曲理論ピアノ	飯野 明日香	清水 篤
土田 英介*	原田 敬子○	鈴木 輝昭	鷹羽 弘晃*	石島 正博*	石岡 久乃	田口 真理子
加藤 真一郎*	愛澤 伯友○	田川 浩太郎	間谷 琴未★	土田 英介*	三輪 郁	松波 匠太郎
森山 智宏*	池田 哲美○	林 達也	遠藤 真理子	加藤 真一郎*	吉田 真穂	山口 恭子
鷹羽 弘晃*	久木山 直○	宮木 朝子	佐藤 岳晶	森山 智宏*	【副科作曲】	山下 美香
正門 憲也★	大家 百子	渡辺 裕紀子	村上 寿昭	鷹羽 弘晃*	井上 渚	渡部 真理子
三瀬 和朗◇	金子 仁美	▼ 作曲法演習	渡辺 裕紀子	沼沢 淑音*	遠藤 真理子	
杉山 洋一○	小島 有利子	土田 英介*		Emanuel Rimoldi○	金田 望	

ミュージコロジー

沼野 雄司* (主任)	安田 和信*
-------------	--------

大学 | 専門科目

ソルフェージュ

鷹羽 弘晃* (主任)	間谷 琴未★	加藤 千春	高石 彩香	百武 真弓	松井 裕紀子	渡部 真理子
森山 智宏*	安西 房代	沢木 良子	田口 真理子	平野 公崇	柳川 瑞季	
加藤 真一郎*	市川 景之	塩崎 美幸	田中 やよい	深見 麻悠子	山口 恭子	
伊倉 由紀子★	上田 真樹	清水 篤	塚田 真理	船橋 泉乃	山下 真理	
鈴木 しのぶ★	大石 恭子	十川 菜穂	築田 佳奈	堀井 佐知子	山中 千尋	

音楽学・音楽史

沼野 雄司* (主任)	池原 舞	川崎 瑞穂	佐藤 康太	沼口 隆	三城 桜子
安田 和信*	石濱 加夏子	後藤 菜穂子	白井 史人	伏木 香織	山上 揚平
上尾 信也○	今井 千絵	小室 敬幸	塚田 花恵	藤村 晶子	米田 かおり
佐々木 亮○	岡田 安樹浩	佐々木 美奈子	永井 玉藻	前原 恵美	

和声法・音楽理論・Music and Sound Design・芸術音楽

石島 正博* (主任)	間谷 琴未★	大野 茉莉	大部 胡知	▼MSD演習・共同制作	佐藤 岳晶
土田 英介*	愛澤 伯友○	片山 稔	引地 誠	亀川 徹○	田川 浩太郎
加藤 真一郎*	池田 哲美○	工藤 真希子	降旗 奈月	西岡 龍彦○	宮木 朝子
森山 智宏*	久木山 直○	篠田 昌伸	松波 匠太郎	池田 哲美○	山口 恭子
鷹羽 弘晃*	井上 渚	清水 篤	山中 千尋	加藤 直正○	山中 千尋
正門 憲也★	井上 莉里	下山 静香	渡部 真理子	姫田 大○	

その他専門科目

▼ピアノ伴奏法	▼ピアノ・リテラチュア	▼オペラクラス	竹内 雅拳	▼音楽批評	▼オーケストラ	稲川 永示
石野 真穂	河村 晋吾	大橋 ゆり*	友清 崇	梅津 時比古◇	上原 宏*	景山 裕子
梅田 朋子	▼ピアノ実技指導法	腰越 満美*	福永 一博	▼音楽療法の理論と技法	蠣崎 耕三*	菊地 知也
▼伴奏クラス	今井 彩子	鈴木 准*	▼オペレッタ・ミュージカル演習	小宮 暖	▼室内楽講座	宮坂 拓志
小田 裕之	▼声楽ディクシオン	▼声楽アンサンブル・合唱	▼指揮法	▼音楽音響学	▼弦合奏	▼キャリアデザイン
▼ピアノ演奏法	大橋 ゆり*	宮本 益光*	▼演奏科学	▼音楽科学	市川 雅典*	大島 路子
河村 晋吾	宮本 益光*	藤川 泰彰★	駒井 ゆり子	加藤 洋朗	田中 晶子*	
島田 彩乃	藤川 泰彰★	大津 康平				
三原 未紗子	駒井 ゆり子	加藤 洋朗				

大学 | 語学科目・一般教養科目・教職課程科目

語学科目

▼英語	大島 路子	間瀬 裕子	十川 菜穂	Markus Freyberg	武藤 陽子
長瀬 浩平*	鈴木 希	矢向 寛子	萩原 さがみ	猪狩 弘美	吉村 暁子
三浦 大輔★	田中 直人	▼フランス語	山邑 久仁子	織田 晶子	▼イタリア語
Jeremy Fulton○	田中 由香	加藤 三和	▼ドイツ語	川名 真矢	Vincenzo Spinuso○
Yohanan Chendler	服部 剛史	小泉 洋樹	玉川 裕子*	杉山 真佑美	Costanza Rufo
Alexandra Roland	藤田 恵里子	佐藤 ローラ	Stefan Sabel○	松村 亜矢	

一般教養科目

長瀬 浩平* (主任)	荒巻 由紀★	伊澤 英紀	遠藤 記代子	小宮 暖	瀬川 哲朗	野上 圭太
杵鞭 広美*	西野入 篤男★	入井 凡乃	加藤 三和	里岡 純子	千田 実	秦 江里奈
玉川 裕子*	室田 大樹★	内田 裕太	木下 頌子	清水 郁子	長井 淳	水野 泰尚
姫野 雅子*	阿部 史佳	江川 純一	小松 志朗	須関 裕子	中山 夏織	

教職課程科目

杵鞭 広美* (主任)	河原 勇人○	石坂 浩毅	小高 臣彦	山本 剛
宮本 益光*	風見 章○	狩野 浩二	宮城 哲	

高校 | 専門科目

ソルフェージュ

伊倉 由紀子★	鷹羽 弘晃*	井上 莉里	塚田 真理	船橋 泉乃	守永 由香
鈴木 しのぶ★	安西 房代	大塚 萌	築田 佳奈	堀井 佐知子	山口 恭子
間谷 琴未★	市川 景之	田中 やよい	中村 理奈子	松井 裕紀子	山下 真理

ピアノ初見

伊倉 由紀子★	間谷 琴未★	加藤 千春	築田 佳奈	中村 理奈子	渡部 真理子
鈴木 しのぶ★	加藤 真一郎*	沢木 良子	寺嶋 陸也	百武 真弓	

音楽史

安田 和信*	米田 かおり	伊倉 由紀子★	加藤 真一郎*	石濱 加夏子	遠藤 真理子	藤村 晶子
藤村 晶子		正門 憲也★	森山 智宏*	井上 渚	桐山 温子	渡部 真理子
三城 桜子		間谷 琴未★	鷹羽 弘晃*	井上 莉里	下田 幸二	

音楽理論

弦楽アンサンブル・弦楽オーケストラ

市川 雅典*	長谷川 陽子*	景山 裕子	藤川 泰彰★	櫻井 淳	佐藤 勝重
田中 晶子*	稲川 永示	清水 醍輝	丹藤 麻砂美	長谷川 暉	吉武 優

独唱・合唱

室内楽（ピアノ）

高校 | 普通科目

外国語

▼英語	Damian Macintosh○	鈴木 希	宮崎 由美子	川名 真矢	▼フランス語	小泉 洋樹
三浦 大輔★	Alexandra Roland	服部 剛史	▼ドイツ語	杉山 真佑美	加藤 三和	
長瀬 浩平*	石井 裕香	間瀬 裕子	玉川 裕子*	松村 亜矢	山邑 久仁子	

他科目

▼国語	▼地理歴史・公民	▼数学・理科・情報	上野 国子	▼家庭科	▼保健体育	田中 優子
西野入 篤男★	室田 大樹★	姫野 雅子*	土田 智美	川島 しずゑ	荒巻 由紀★	野上 圭太
内田 裕太	笹村 剛	石井 真紀子	増田 翔也	矢野 祐子	伊澤 英紀	福田 大和子
千田 実		上杉 公志			須関 裕子	

大学院 | 専門科目・関連科目・総合科目 (修士課程・博士後期課程)

ピアノ

▼コレペティツィオン	※ 大学教員と共通	▼声楽特殊研究・歌曲・台本研究	田口 智子	▼作品分析・創作演習	加藤 直正	渡辺 裕紀子
田島 亘祥		大橋 ゆり	田島 亘祥	石島 正博	亀川 徹	▼MSD共同制作研究
▼歌曲伴奏		腰越 満美		土田 英介	佐藤 岳晶	加藤 直正
星野 明子		鈴木 准		加藤 真一郎	田川 浩太郎	西岡 龍彦
▼器楽特殊研究		宮本 益光		森山 智宏	姫田 大	宮木 朝子
武田 美和子		太田 朋子		鷹羽 弘晃	山口 恭子	▼総合演習
				池田 哲美	山中 千尋	下山 静香

音楽学

▼文献・原書講読	後藤 菜穂子	永井 玉藻	粟津 惇	鷹羽 弘晃	鈴木 しのぶ	▼ソルフェージュ特殊研究
沼野 雄司	佐藤 康太	西原 稔	大友 肇	森山 智宏	間谷 琴未	寺嶋 陸也
安田 和信	白井 史人		西野 ゆか	加藤 真一郎		塚田 真理
上尾 信也	友利 修		吉田 有紀子	伊倉 由紀子		

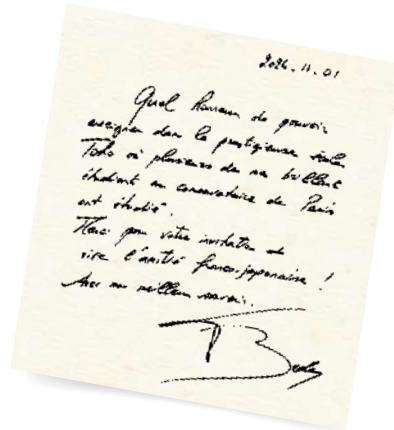
室内楽

ソルフェージュ教育

特別レッスン

本学の教育活動は海外にも広く知られ、本学の学生や教育システムに関心を持つ多くの演奏家や指導者が世界中から来校し、特別レッスンや公開講座を行っています。国際色豊かなレッスンは学生の視野を広げ、世界の舞台上で活躍する音楽家を育成します。

詳細はWebへ



ピアノ特別レッスン

フランク・ブラレイ

ピアニスト/パリ国立高等音楽院教授

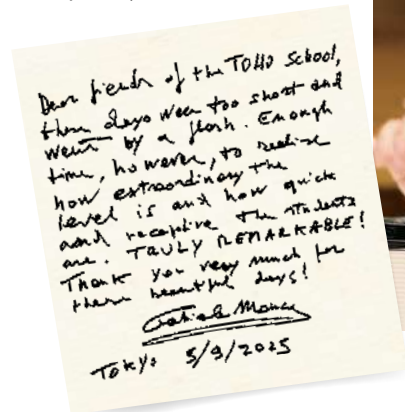
私のパリ国立高等音楽院の数多くの優秀な生徒たちが学んだ名門校、桐朋学園で教えることができることは、何と光栄なことでしょう。お招きに感謝し日本とフランスの永遠の友好を祈念します。最高の思い出とともに。フランク・ブラレイ

作曲特別講座

ガブリエーレ・マンカ

ミラノ音楽院教授

親愛なる桐朋学園の友人の皆さん(5日間は)とても短く、光陰矢の如しでした。しかし、桐朋学園の学生の皆さんが卓越した水準と素早く深い理解力を持っていることを知るには十分な5日間でした。真に特筆すべき才能です! 心のこもった日々をありがとうございました。ガブリエーレ・マンカ



チェロマスタークラス

マルク・コッペイ

チェリスト/パリ国立高等音楽院 教授

桐朋学園のゲストとしてお招きいただき、才能あふれる若い仲間たちとともに働くことを、大変光栄に思い、喜ばしく感じております。感謝と敬意をこめて。マルク・コッペイ

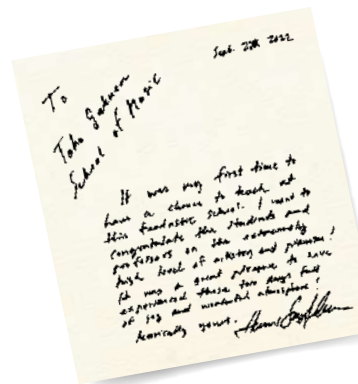


ピアノ特別レッスン

ヘンリ・シーグフリードソン

ピアニスト/ Folkwang 芸術大学 教授

桐朋学園の皆さんへ。初めてこの素晴らしい学校で教える機会に恵まれました。学生の皆さん、そして先生方が非常に高いレベルの芸術性、そしてピアニズムを築き上げていらっしゃることを心から称賛したいと思います。喜びと素晴らしい雰囲気のある2日間を過ごすことができとても光栄です。音楽をこめて。ヘンリ・シーグフリードソン

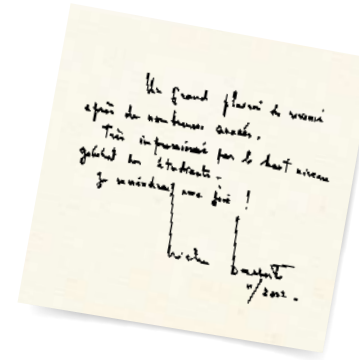


ピアノ特別レッスン

ミシェル・ダルベルト

ピアニスト

何年もの時を経て、再び(桐朋に)戻ってくることができたことは大きな喜びです。驚くほどハイレベルな学生にとっても感心しています。私は喜びとともにまたここに戻ってくるでしょう。ミシェル・ダルベルト



特別レッスン・公開講座担当者一覧 (2025年実績)

李 義敬 (作曲) / 出雲 春 (舞踊家) / 出雲 礼 (舞踊家) / 今井 信子 (ヴァイオリン) / ジョージ・ヴァチナーゼ (ピアノトビシ音楽大学学長) / セバスティアン・ヴィンヤール (ピアノリヨン国立高等音楽院教授) / 海老 彰子 (ピアノ 本学特命教授) / 大宮 臨太郎 (ヴァイオリンNHK交響楽団) / 尾高 忠明 (指揮 本学特命教授) / ボリス・クスネツォフ (ピアノフェーリクス・メンデルスゾーン音楽演劇大学室内楽教授) / ローランド・クリューガー (ピアノノヴァー音楽大学教授) / ヤメン・サーディ (ヴァイオリンウィーン国立歌劇場コンサートマスター) / 坂本 麻実 (バレエ) / 佐藤 拓 (アレクサンダー・テクニク指導者) / チャールズ・スベンサー (ピアノ元ウィーン国立音楽大学教授) / 反田 恭平 (ピアノ 本学特任教授) / 高谷 智子 (映像 武蔵野美術大学専任講師) / アントワン・タメスティ (ヴァイオリン) / バスカル・ドヴァイヨン (ピアノ) / 富正和 (録音エンジニア) / 濱崎 公男 (録音エンジニア) / 原田 敬子 (作曲 本学非常勤講師) / ラヴィニア・ビーニ (ソプラノ) / 平野 公崇 (サクソフォン即興演奏 本学非常勤講師) / 福永 真由美 (箏) / フランク・ブラレイ (ピアノ/パリ国立高等音楽院教授) / ヴィレム・プロンス (ピアノ/アムステルダム音楽院教授) / 牧田 啓佑 (チェンバロ技術者 調律師) / 松田 拓之 (ヴァイオリンNHK交響楽団) / ミハエラ・マルティン (ヴァイオリンケルン音楽大学教授) / ガブリエーレ・マンカ (作曲 ミラノ音楽院教授) / 三宅 毅彦 (一般社団法人REASH PROJECT 副代表) / 森田 昌弘 (ヴァイオリンNHK交響楽団) / 安田 和信 (音楽学 本学准教授) / ヤン・スノウ (テオロ 延世大学音楽学部教授) / 春 理 (舞踊家) / トマシュ・リツテル (フォルテピアノ) / ハネス・ロイビシ (トランペット元ミュンヘン音楽大学教授) / 渡邊 順生 (チェンバロ 本学非常勤講師)

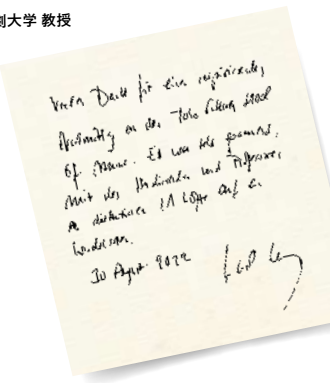
※所属・役職はレッスン当時のものです。

作曲公開講座

イザベル・ムンドリー

作曲家/ミュンヘン音楽・演劇大学 教授

桐朋学園でインスピレーションに富んだ午後を過ごすことができたことに感謝します。学生や先生方との議論は、とても興味深かったです。またお会いできることを楽しみにしています。イザベル・ムンドリー



Campus life

【桐朋生のキャンパスライフ】

桐朋学園の学生たちは同じ音楽を志す者として、互いに切磋琢磨できる環境のなかで、日々練習に励んでいます。自身に合ったスタイルで過ごす学校生活。ここでは、学生のキャンパスライフの一部をご紹介します。

- 桐朋生の1日 35
- 活躍する桐朋生 38
- コンサートスケジュール 40
- キャンパスガイド 42



Column

楽器と学年を越えて広がる交流

ピアノ、ヴァイオリン、チェロなど、様々な専攻の高校生と大学生が、授業や学生ホールで日常的に交流する環境の中で、音楽観を広げていきます。

Our days

桐朋生の1日

個々に合ったスタイルで、授業や自主練習を通じて音楽の才能を伸ばしています。桐朋生の朝練習、夜練習、学生会館、3つのキャンパスライフをご紹介します。

Case.1 朝練



多様な学びを経験できる環境で研鑽を続ける

片岡 琴佑さん

桐朋女子高等学校 音楽科(男女共学)2年
ピアノ専門

5歳よりピアノを習い始める
2016年 子供のための音楽教室入室
2016年 加藤 明子先生に師事
2022年 桐朋女子高等学校に特待生として入学
有吉 亮治先生に師事

桐朋学園には授業やレッスンだけではなく様々な学びの場があります。尊敬する先輩との2台ピアノ、同級生と発表したピアノ・クインテットなど和気藹々としながらも日々研鑽を積んでいます。同級生や先輩との室内楽を通じて、自分の音、相手の音をよく聴くようになり、良い音楽を創り上げるために意見も言い合えるようになりました。

II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	音楽史	ソルフェージュ	英語 論理・表現	フランス語	体育
2	英語 コミュニケーション	フランス語	音楽理論応用	数学1	ソルフェージュ
昼休み					
3	国語応用I	和声	科学と人間生活	生物基礎	公共
4			ホームルーム		
5					男声合唱

On a Tuesday

6:30	8:40	10:20	11:50	12:40	14:30	18:00
学校で練習	授業 (ソルフェージュ)	授業	休憩	授業	学校で練習	帰宅



楽しみながら、感性を磨く

聴音を通じて和声やリズムの捉え方を学び、表現力を養います。歌ったりリズムを取ったりする時間も楽しく好きな授業です。



友達とおしゃべりしてリラックス

同じ志を持ち切磋琢磨し合う学校の友達はとても大切な存在です。空き時間は音楽や日常のことまで、様々な話題を語り合います。



ソロでは味わえない音色を奏でる

ソロの演奏も楽しいですが、同級生という、身近で尊敬できる音楽仲間と一緒に演奏できる室内楽の演奏も心地よく好きです。

Case.2
夜練



ともに学ぶ仲間の
頑張る姿が、
私の原動力に

多々良 真名さん

桐朋学園大学 音楽学部 1年
弦楽器専攻 (ヴァイオリン)

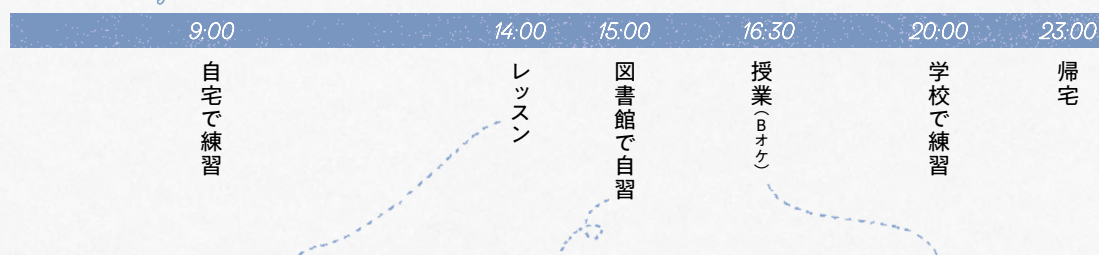
5歳よりヴァイオリンを習い始める
12歳より加藤 知子先生に師事
2023年 室内楽セミナー「秋吉台の響き」2023に参加
第5回日本奏楽コンクール 大学生の部第2位

桐朋学園は、指導して下さる先生も一緒に学ぶ仲間も尊敬できる方ばかり。皆さんの演奏に取り組む姿を見てると、自然と「追いつきたい」という想いが生まれ、練習や勉強にもより身が入るように感じます。自宅が遠いので、個人の練習は放課後にそのまま学校で取り組むことが多いですね。練習室は集中力が高まるので、お気に入りの場所です。

II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	その他
1	音楽理論 (応用和声II) 2	音楽理論 (分析) 24	室内楽史			通隔授業 日本国憲法 Aβ
2	ドイツ語 6	ソルフェージュ SP	体育 ナンバリズムβ		オペラ・ オラトリオ史 I	
昼休み						
3	英語III 17-OCβ	ドイツ語 9				
4	日本語表現 3		英語III 20-LW			
5				オーケストラ 中級クラス		

On a Thursday



親身な指導で自分の成長を実感

週に一度、先生と1対1でレッスンがあります。個性や成長のペースに合った、細やかな的確な指導を受けることができます。



授業の合間を活用して予習・復習

授業の空き時間や練習室が空いていないときは、スコアを読んだり課題に取り組んだりして時間を有効活用しています。



オーケストラの演奏を授業で体験

プロとして活躍する講師の方に指導を受けられる貴重な時間。一人での演奏とは異なる弾き方なども体験でき、勉強になります。

Case.3
学生会館



仲間から刺激を、
恩師から夢を
感じる毎日

平原 由唯さん

桐朋学園大学 音楽学部 2年
管楽器専攻 (フルート)

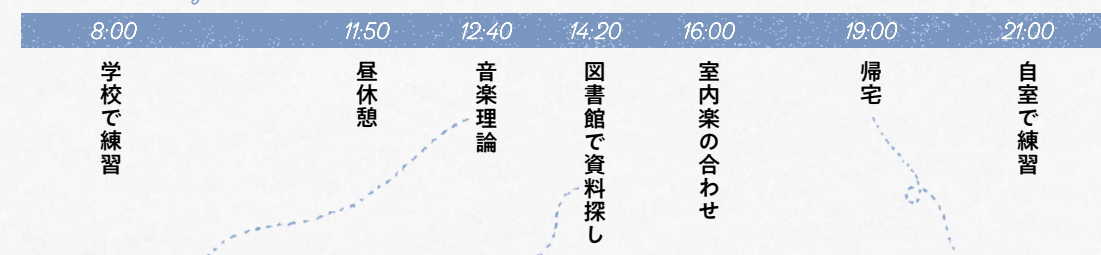
11歳よりフルートを習い始める
2019年 泉 真由先生に師事
2021年 桐朋女子高等学校音楽科に入学

桐朋でオーケストラを学んでみたい、福島県から進学しました。私と同じように音楽が大好きな仲間と過ごす日々は、とても刺激的です。校舎で一緒に練習をしたり、学生会館でみんなで集まって語り合ったりと、充実した学校生活を過ごしています。先生の親身な指導にも心を動かされ、最近では「自分も音楽を教える人になりたい」という夢ができました。

II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	その他
1		教育と法				土曜日 ウィンドオーケストラ
2		音楽家のためのトータル コンディショニング		教育相談	英語 II 5-C	通隔授業 日本国憲法II統治
昼休み						
3		ソルフェージュ SP	音楽理論 (分析) X	音楽心理学	音楽史各論 X	集中講義 和声器楽習
4				女声合唱	オーケストラ 基礎クラス	日本語 道徳理論と指導法
5	管アンサンプル				オーケストラ 基礎クラス	

On a Wednesday



音楽理論を学び、演奏に深みを

現代音楽について分析する音楽理論の授業。楽譜を理論的に読み取り、作曲家の込めた想いを考えることで解釈が深まります。



楽譜や音源を求めて図書館へ

楽譜やCD、DVDが豊富にあり、欲しい資料がすぐ手に入る図書館。設置されている機材の音質も良く、重宝しています。



練習の後はロビーでくつろいで

学生会館で暮らす同級生とはよく一緒に帰ります。練習後は、ロビーで楽しくおしゃべりをしてリフレッシュしています。

Our success

活躍する桐朋生

コンクール出場やオーケストラ参加など、様々なステージで活躍する桐朋生。
その経歴や活動内容、それぞれの想いについてご紹介します。



Pickup
鍛錬を重ね、挑戦し続ける

第94回 日本音楽コンクール
ピアノ部門 第1位・岩谷賞（聴衆賞）

加藤 皓介さん

桐朋学園大学 音楽学部1年
ピアノ専攻

楽譜の内容を余すことなく表現できるよう、先生方から楽譜の読み込み方や体の使い方などを教わり、時間の許す限り練習しました。コンクールを通じて素晴らしい音楽仲間とも出会い、技術だけでなく精神面でも大きな成長を感じています。世界で活躍する芸術家を目指し、今後も挑戦を続けたいです。



Pickup
演奏を楽しむほど、音色も豊かに

第11回 神戸国際フルートコンクール
第3位

藤野 瞳子さん

桐朋学園大学 音楽学部
ソリスト・ディプロマ・コース2年
フルート専攻

今までのコンクールは緊張が先立ち、楽しんで演奏する余裕がありませんでした。ですが今回は審査員だけではなく、多くのお客さんが聴きにきて下さり、演奏会のような雰囲気楽しんで演奏できた瞬間がたくさんありました。この経験を通じて、緊張の中でもどう演奏することを楽しむかを学びました。

Pickup
心に届く音楽を追い求める

第94回日本音楽コンクール
バイオリン部門 第2位

松木 翔太郎さん

桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）2年
弦楽器専門（ヴァイオリン）

師事している先生の「上手なヴァイオリニストではなく、いい音楽家・表現者になりなさい」という言葉を大事にしています。私が目指しているのは、「聴いている人の心に届く音楽」を奏でること。ともに音楽を学ぶ同級生から刺激を受け、経験を重ねながら、これからも技術を磨いていきたいです。



コンクール等での活躍（2025年度実績）

エリザベート王妃
国際音楽コンクール 2025

【ピアノ部門】
第5位 SD3年 亀井 聖矢さん

第94回 日本音楽コンクール

【ピアノ部門】
第1位/岩谷賞（聴衆賞） 大学1年 加藤 皓介さん
第2位 大学2年 中瀬 智哉さん
第4位 大学3年 藤川 天輝さん

【バイオリン部門】
第2位 高校2年 松木 翔太郎さん
第4位 大学4年 高麗 愛子さん

【オーボエ部門】
第2位/岩谷賞（聴衆賞）
桐朋オーケストラ・アカデミー 江波戸 大樹さん

第49回
ビティナ・ピアノコンペティション 特級

グランプリ 大学4年 稲沢 朋華さん
銅賞 大学1年 加藤 皓介さん

第44回 飯塚新人音楽コンクール

【ピアノ部門】
第1位/文部科学大臣賞 修士1年 丸山 凜さん

第11回 神戸国際フルートコンクール
第3位 SD2年 藤野 瞳子さん

奏楽堂日本歌曲コンクール第31回

【作曲部門】
第1位/大中 恩賞 大学3年 稲室 来実さん

第5回 Shigeru Kawai
国際ピアノコンクール

第3位 SD1年 林 沙彩さん

第76回 ブラハの春国際音楽コンクール

【チェロ部門】
第1位 2019.03 SD修了 水野 優也さん

イザイ国際音楽コンクール 2025

【ヴァイオリンシニア部門】
第3位 2025.03 修士修了 東 亮汰さん

第76回芸術選奨

【音楽部門】
文部科学大臣新人賞
2017年高校卒業 ヴァイオリン 三澤 響果さん
2021年大学卒業 ヴァイオリン 菊野 凜太郎さん
2019年大学卒業 ヴィオラ 山本 一輝さん

※紙面の都合で一部のみを掲載しています。（入賞時の学年を記載）

Our concerts

コンサートスケジュール

本学主催・共催などの演奏会が数多く開催されます。その他公演および詳細は、ホームページの「演奏会情報」でご案内していますのでご覧ください。

4月	13 (月)	第116回 室内楽演奏会 桐朋学園宗次ホール	22 (月)	大学 Student Concert ① 桐朋学園宗次ホール		
	14 (火)	第117回 室内楽演奏会 桐朋学園宗次ホール	24 (水)	大学 Student Concert ② 桐朋学園宗次ホール		
	15 (水)	第118回 室内楽演奏会 桐朋学園宗次ホール	7月	3 (金)	オーケストラ演奏会 指揮：新田 ユリ 調布市グリーンホール 大ホール	
	19 (日)	卒業演奏会 (高校) 浜離宮朝日ホール		8月	24 (月)	桐朋ピアノ・ コンペティション (本選) 桐朋学園宗次ホール
	21 (火)	声楽コンサート 桐朋学園宗次ホール			26 (土)	佐々木成子賞受賞者コンサート 桐朋学園宗次ホール
26 (日)	卒業演奏会 (大学) 浜離宮朝日ホール	9月	10月	21 (水)	第23回 桐朋ピアノ・ ガラコンサート 三鷹市芸術文化センター風のホール	
5月	13 (水)			管楽アンサンブルの夕べ ① 桐朋学園宗次ホール	28 (水)	大学 Student Concert ③ 桐朋学園宗次ホール
	18 (月)			管楽アンサンブルの夕べ ② 桐朋学園宗次ホール	11月	23 (月)
26 (火) / 27 (水)	ヴィオラスペース サントリーホール ブルーローズ	6月	10 (水)	第48回 作曲作品展 調布市文化会館たづくり2F くすのきホール		
15 (月)	高校 Student Concert ① 桐朋学園宗次ホール		17 (水)	高校 Student Concert ② 桐朋学園宗次ホール		



©Hikaru. ☆

12月	7 (月)	ハーブアンサンブルの夕べ 桐朋学園宗次ホール	6 (土)	大学ピアノ専攻卒業演奏会 桐朋学園宗次ホール
	9 (水)	チェロアンサンブル 府中の森芸術劇場 ウィーンホール		27 (土) / 28 (日)
	10 (木)	第45回 パークッションの夕べ 三鷹市芸術文化センター風のホール	1月	13 (水)
18 (金)	第36回 Symphonic Winds 演奏会 杉並公会堂 大ホール	16 (土)		オーケストラ演奏会 指揮：山下 一史 調布市グリーンホール 大ホール
22 (金)	合唱の夕べ 府中の森芸術劇場 ウィーンホール	22 (金)		合唱の夕べ 府中の森芸術劇場 ウィーンホール
3月	1 (月)	第24回 桐朋ピアノ・ ガラコンサート 桐朋学園宗次ホール		

桐朋 木の香りコンサート

音楽教室に通う小中学生から、高校生・大学生・大学院生まで……桐朋で学ぶ学生・生徒が出演するコンサートです。開催予定やプログラムなどはX (旧 Twitter) に随時掲載していますので、ご確認ください。



高校の1年間

チャイムがない、90分授業、髪型・服装自由、大学生と同じキャンパス。それでも本校は「高校」です。クラス対抗で盛り上がるスポーツ大会(6月)、里山の自然を味わう高2校外学習(5月)、生徒が作曲した課題曲を歌う合唱コンクール(3月)など、かけがえのない経験を重ねます。写真は、高2から1年がかりで創り上げる高3ミュージカル活動(9月)の様子です。



詳しくは
ホームページを
ご覧ください



大学の1年間

演奏会(木の香り、室内楽、管楽アンサンブル、声楽コンサート)や研究発表(作品展)、特別レッスン、公開講座、キャリア支援センター主催のイベント等、専攻を越えた交流の機会は多く、「副専攻」を履修し音楽的視野を広げることも可能です。10月に開催する「桐朋祭」は、高大が連携し学生生徒が企画する音楽プログラムを地域の人々に届ける貴重な機会となっています。



詳しくは
ホームページを
ご覧ください



仙川キャンパス

〒182-8510
東京都調布市若葉町 1-41-1
Tel.03-3307-4101 (代表)

仙川キャンパスは、桐朋学園宗次ホールを併設する校舎を含む2棟の校舎を備えています。どちらも隈研吾氏デザインの木造校舎で、木ならではの快適な音環境を提供し、桐朋生に愛される学び舎として定着しています。高校生と大学生が学年の垣根を越えて学ぶキャンパスは、様々な楽器の音や人の声が混ざり合い、活気あふれる交流の空間を生み出しています。



- 1 隈研吾氏によるデザイン
- 2 木のぬくもりを感じられる教室
- 3 憩いの場となる学生ホール

仙川図書館

広々とした明るい図書館には、桐朋生の学びに欠かせない図書、楽譜、学内演奏会、映像資料が並び、2万以上の資料をすぐに利用できます。ノートPCの貸出や、専門知識を備えた図書館員のレファレンスを通じて、図書館での学びをサポートします。



桐朋学園宗次ホール

〒182-8510
東京都調布市若葉町 1-41-1
Tel.03-3307-4101 (代表)

仙川キャンパスH館は、講義室、レッスン室、そして専用の音楽ホールである桐朋学園宗次ホールで構成されています。このホールは、最大客席数234席と小ぶりながら、フルオーケストラを収容できる広いステージを備えています。ホールにはCLTと呼ばれる木材が使用され、森の中のような空間に柔らかな音が広がります。



- 1 大きな窓から光が入る教室
- 2 CLTが印象的なエントランス
- 3 音の響きにこだわった音楽ホール



調布キャンパス

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘 1-10-1
Tel.042-444-7055 (代表)

調布キャンパスは、主に大学院生のための研究施設として、高校生・大学生の活動拠点である仙川キャンパスと対をなす学び舎になっています。地下部分には図書館施設が入り、1階には読書しながら飲食できるスペースが設けられています。動的な仙川キャンパスに対し、スタティックな調布キャンパスは、院生たちが落ち着いて研究できる環境を提供します。



- 1 日建設計・山梨知彦氏によるデザイン
- 2 2階廊下には窓の大きな休憩スペース
- 3 響きを良くする木板が設置された教室

調布図書館

図書館の1階部分は学生ホールとシームレスにつながり、食事や談話をしながら図書や雑誌を読む開放的な空間です。地下部分は5万以上の楽譜や図書を所蔵し、調査や研究に集中できるスペースになっています。自動貸出機でいつでも資料の貸出が可能です。



アネックス

〒182-8510
東京都調布市若葉町 2-19-47

仙川キャンパスから徒歩約10分の場所に、音響面、デザインともに高い評価を受けている「アネックス」があります。大小様々な広さの15室を有し、主にレッスンで使用されています。



学生会館

調布市調布ヶ丘
(京王線調布駅より徒歩約15分)

遠方に住む女子生徒・学生のための居住施設です。各住戸は防音設備付きの洋室となっていて、練習や勉強に必要な諸条件を確保する他、管理人が常駐しています。詳細は本学ホームページをご覧ください。



📍 仙川キャンパス・調布キャンパス
保健室・学生相談室

桐朋生の皆さんが安心して充実した学校生活を送れるよう、保健スタッフもサポートします。保健室には看護師が常駐し救急対応と健康相談を行い、学生相談室では学校生活に関する様々な相談に応じます。病気や障がいのために特別な配慮を必要とする方も、こちらでご相談ください。

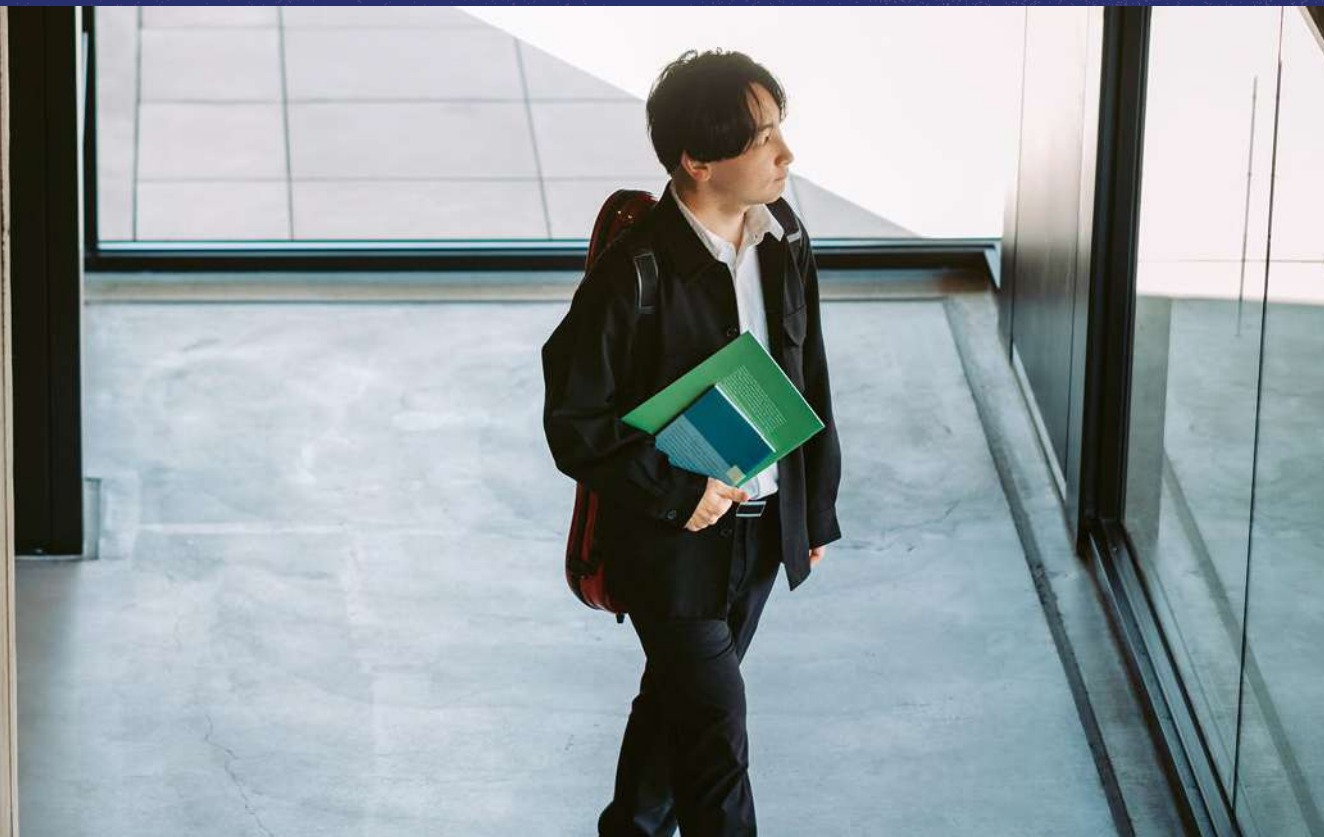
Next stage

【桐朋生の進路・進学】

音楽を究め続ける人生の先には、これからも様々な選択肢があります。

桐朋学園では、留学をはじめ、進路や進学について学生一人ひとりに寄り添いサポートしています。

高校卒業後の進路	45
大学卒業後の進路	46
留学について	47
大学院への進学	48
特待生・奨学金制度	49
入試情報	50



Column

音楽文化を支える 多様な進路

国内外の音楽大学や大学院、演奏活動、教育・研究分野などに進む他、世界の音楽文化を支える様々な文脈で桐朋生は活躍しています。一人ひとりの将来像に寄り添い、進路選択を支えます。

Next stage

高校卒業後の進路

桐朋学園大学への進学その他、 実技に特化したコースへの道も

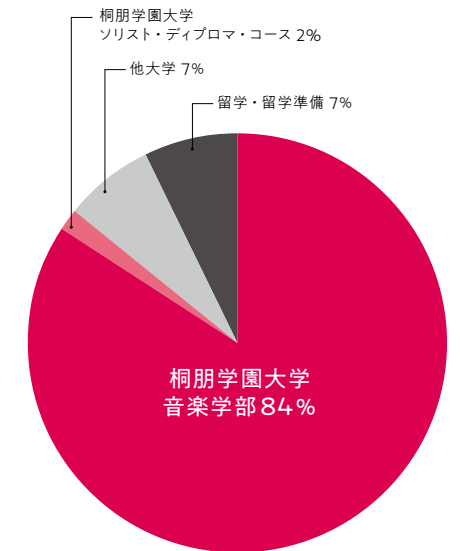
桐朋学園では、高校から大学まで一貫した音楽教育を実践しています。大多数の生徒が指定校推薦制度で桐朋学園大学音楽学部への進学を希望し、ソリスト・ディプロマ・コースやカレッジ・ディプロマ・コースなどの実技に特化したコースに進学する生徒もいます。他にも、留学や他大学への進学を選択する生徒もいます。

桐朋学園大学音楽学部への推薦基準

桐朋女子高等学校音楽科を卒業見込みの者で、桐朋女子高等学校校長が推薦し、次の要件を満たす者。

- ・ 高校在学中の授業および実技レッスン（副科ピアノ、理論科ピアノなども含む）への出席が良好で、常日頃より勉学の意欲を持つ者。
- ・ 素行、生活態度が桐朋学園大学音楽学部へ推薦するに相応しいこと。
- ・ 卒業に必要な科目の単位をすべて修得する見込みであり、次の科目については、高校3年次に一定以上の成績を修めていること。
[専門実技/聴音・ソルフェージュ/和声法/音楽史]

▶ 2025年度の卒業生進路
(卒業生57名)



Other course

桐朋独自の多様な学び場

▶ ソリスト・ディプロマ

受験資格：中学校卒業以上の者

ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、声楽において、ソリストとしての将来性を有すると認められた者を対象に、実技の重点的教育を行うコースです。

▶ オープンカレッジ「指揮コース」

受験資格：高等学校卒業以上の者

桐朋学園大学の指導陣による「指揮実技」のレッスンを年間24回受講することができるコースです。

▶ 研究生

受験資格：大学音楽学部卒業以上の者

音楽大学の卒業生で、さらに実技の研究を深めたい者のために設置されています。

設置専攻 管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/指揮

▶ カレッジ・ディプロマ

受験資格：高等学校卒業以上の者

実技を中心とした自由で高度な専門教育を行うコースです。生涯学習やダブルスクールの場も提供しています。

▶ 科目等履修生

受験資格：高等学校卒業以上の者

学科系の講座の単位修得を目的として受講するコースです。実技は受講できません。

※詳細は本学ホームページ
(<https://www.tohomusic.ac.jp/>)
をご覧ください。

Next stage

大学卒業後の進路

さらなる研鑽を積むために多くの学生が進学を選択

5割程度の学生が桐朋学園の大学院や研究科、桐朋オーケストラ・アカデミーへ進学する他、新たな活動拠点を求めて海外留学する学生も多数います。また、桐朋で学んだ専門性を生かし、教育・学習支援機関や音楽関連企業などへ就職する学生もいます。

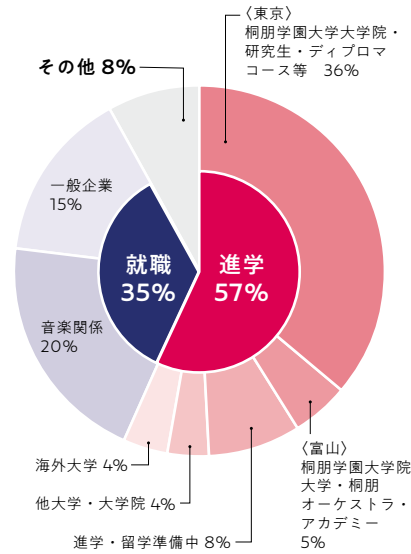
桐朋オーケストラ・アカデミー

プロのオーケストラ・プレイヤーの育成を目的とした研究機関で、弦・管・打楽器奏者を主な対象としています。富山市との連携による演奏会や、大学院大学との共同企画、海外留学生との交流など、多彩な活動を行っています。



富山キャンパス
〒930-0138 富山県富山市呉羽町1884-17

▶ 2024年度の進学就職者実績(卒業生165名)

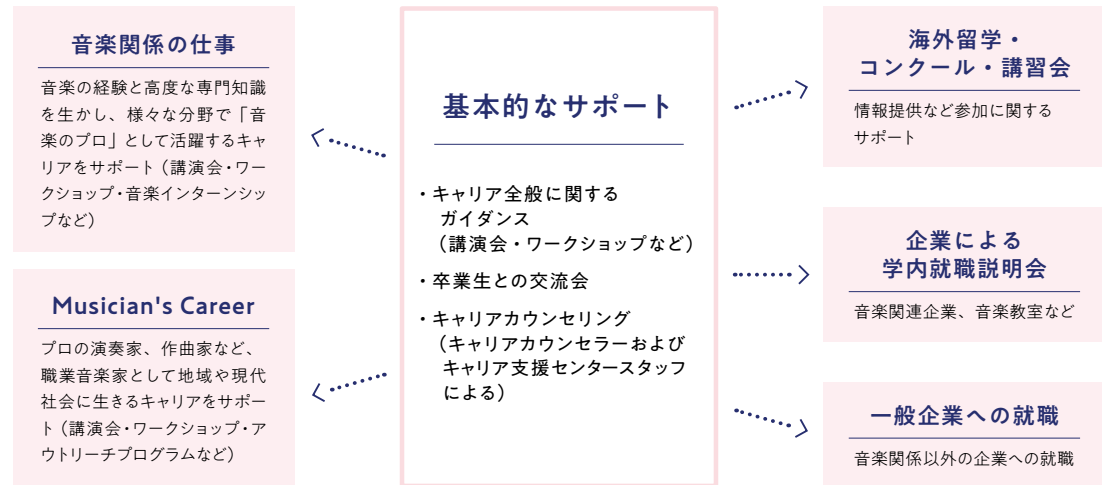


音楽関係の就職先内訳

- 自営業主(演奏家・指導家等) … 24人
- 楽器制作・販売・事務など … 4人
- 学校教員 … 3人
- 演奏員・研究員(大学等) … 2人
- 企画制作会社 … 2人

キャリアサポート

選択肢を絞るのではなく、可能性を広げる — それが、桐朋のキャリア支援の理念です。幅広い視野を身につけ、自分自身とじっくり向き合い、世界でたったひとつの、あなたならではの人生を開拓してください。キャリア支援センターでは、その模索と実現を後押しすべく、それぞれの未来に目を向けたアドバイスを行っています。



Next stage

留学について

個々の主体性を尊重する、目的に合わせた留学支援

音楽家を志したときから、留学を視野に入れている人も多いのではないのでしょうか。桐朋学園では一人ひとりの目的に合った留学が計画できるように有益な情報を提供しています。高校から大学院までの間でいつ留学するかはその人次第です。それぞれのタイミングで海外へ向かう桐朋生をサポートします。

留学先 (2024～2025年度実績)

カーティス音楽院、ハンス・アイスラー音楽大学、ウィーン市立音楽芸大、ザルツブルク・モーツァルテウム大学、ハーグ国立音楽院、エコールノルマル音楽院、サンモール地方音楽院、英国王立音楽大学、インディアナ大学ジェイコブズスクール大学院、パリ地方音楽院、カーネギーメロン大学、他

留学するために

在学中に1～2週間の短期留学で情報収集をしたり、セミナーや音楽祭で出会った音楽家へアプローチしたりと、留学先や師事する先生の選び方は様々です。本学では、海外を拠点に活躍する卒業生の人脈や、留学経験を持つ講師や身近な先輩からも情報を得ることができます。また、サンタ・チェーリア音楽院、ケルン音楽大学、デトモルト音楽大学との短期交換留学制度もあります。

先生選び	情報収集	コンタクト
先生からの推薦や、卒業生や先輩からの紹介、特別レッスンの招聘教授など、師事したい先生を選びます。	パスポートやビザの準備をはじめ、ホームステイ先・寮・アパートなどの生活拠点について情報を収集します。	師事したい先生や学校への推薦状の用意、願書の添削などのサポートを受けながら留学先とコンタクトを取ります。

留学

留学中の先輩の声



留学先:
パリ国立高等音楽院 (フランス)
谷口 知聡さん
桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学)
ピアノ専門 2017年卒業
桐朋学園大学 音楽学部
ピアノ専攻 2021年卒業
フロラン・ボファール氏に師事
滞在期間:2021年9月～現在



留学先:
カーティス音楽院 (アメリカ)
五月女 恵さん
桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学)
弦楽器専門 2020年卒業
桐朋学園大学 音楽学部
ヴァイオリン専攻 2024年卒業
エリン・キープ氏、
アイダ・カヴァフィアン氏、
ベンジャミン・ペイルマン氏に師事
滞在期間:2024年9月～現在

国際都市で世界に触れる

現代音楽作品の演奏に携わりたいという強い希望があり、この分野での教育環境が整った学校を留学先を選びました。世界中から芸術家が集まるこの場所では、ときに彼らの母国での悲惨な体験を知る機会もあります。桐朋で高校からフランス語を学んだことが役立っていますが、語学だけでなく世界の問題について学ぶ必要性を感じます。

個を磨き「自分の音」を追究する

桐朋での室内楽やオーケストラの授業で鍛えられたおかげで、留学先でもすぐに順応できました。第一線で活躍する方々と頻りに交流・共演をし、人前で演奏する豊富な機会に恵まれています。また、的確な指導により、短時間で効率的に演奏の完成度を引き上げられるようになりました。個性を引き出してくださる環境で、さらに「自分の音」に磨きをかけていきます。

Next stage

大学院への進学

より深く、洗練された 音楽知識と技能の習得を目指して

2017年4月、日本の音楽教育発展の先導役を担う教育・研究機関として仙川・調布両キャンパスに大学院を開設。実践的なカリキュラムを通じて、広く音楽界で活躍できる演奏家の養成、深い音楽的知識や教養を有する教育者や研究者の養成を目指します。



修士課程 標準修業年限：2年

養成しようとする人材

- ・確かな実践能力や豊かな知識をもって活躍できる演奏家

▶ カリキュラム・ポリシー

大学院音楽研究科は、音楽実践に不可欠な高度な能力を習得し、自立した音楽活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。その目的のために、各コースの特質に適合した教育課程を編成している。修士課程は2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技あるいは実習・演習などを履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。学位審査は、修了演奏／作品および研究レポート、または修士論文によって行われ、合格者は修士（音楽）の学位を授与される。

ピアノコース	ソロ／歌曲伴奏／コレペティション
弦楽器コース	ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス
声乐コース	オペラ／歌曲
作曲コース	創作／Music and Sound Design
音楽学コース	
室内楽コース	
ソルフェージュ教育コース	

博士後期課程 標準修業年限：3年

養成しようとする人材

- ・極めて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽に関する学術的な研究を自立的に行うことができ、将来、主に高等教育機関において教育者、研究者として活躍できる人材
- ・豊かな学識に裏打ちされた実践能力によって、世界の音楽界で中枢的指導力を発揮できる人材

▶ カリキュラム・ポリシー

専門領域における極めて高度な知識、教養、見識及び卓越した技能をもって研究及び演奏を行う能力を獲得する。修了後には高等教育機関で教育や研究に従事するために必要な問題発見能力、課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解しクリティカルに検証する能力を習得する。また、教育研究を持続的に推進する人材として、社会や文化に対する広い視野と高い見識を培う。

ピアノ・弦楽器・声乐・作曲・音楽学研究領域

ピアノ・弦楽器・声乐・作曲・音楽学の5つの研究領域において、各自専門の学術研究・実技研究を実施。計画的に研究を進め、積極的に議論や発表を行うことで、音楽研究に必要な方法論や技術を習得。各自の研究成果は研究演奏や博士論文にて発表。修了までに学術研究・実技研究の一体化を目指す。

Other

▶ 桐朋学園大学院大学（富山市）

設置専攻 ピアノ／ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ

【音楽研究科 演奏研究専攻（修士課程）】 アンサンブルを重視した実技研究を特色としています。

Scholarship student

特待生制度

特待生入学試験合格者、入学試験、または、所定の学内試験で専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生に、「入学金」「運営維持費」「授業料」などの全額または一部免除をもって、これを顕彰する特待生制度を設けています。

▶ 2025年度実績

桐朋女子高等学校	10名	・教育充実費30万円 免除2名 ・教育充実費一部20万円 免除8名
桐朋学園大学	10名	・入学金／授業料一部88.25万円 免除4名 ・教育充実費30万円 免除1名 ・教育充実費一部20万円 免除1名 ・教育充実費一部10万円 免除4名
桐朋学園大学院	6名	・施設設備費／教育充実費30万円 免除2名 ・教育充実費一部5万円 免除1名 ・授業料一部30万円 免除1名 ・授業料一部20万円 免除2名
ソリスト・ディプロマ・コース	11名	・受講料／施設設備費100万円 免除3名 ・受講料一部50万円 免除2名 ・登録料一部30万円 免除1名 ・受講料一部30万円 免除1名 ・登録料一部20万円 免除1名 ・受講料一部15万円 免除2名 ・受講料一部10万円 免除1名

Scholarship

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な学生を対象に各種の奨学金制度を設け、多くの学生の勉学の支えとなっています。

▶ 桐朋独自の奨学金制度 ※すべて給付奨学金です。

01 桐朋学園音楽部門奨学金

成績が良好で心身ともに健全であり、経済的理由で就学が困難な学生・生徒に対し、1年毎に選考を行い給付されます。

2025年度 高校：授業料の4割4名／3割3名／2割1名／1割3名
 大学：授業料の4割17名／3割14名／2割17名／1割18名
 大学院：授業料の3割3名／1割7名
 ソリスト・ディプロマ：受講料の1割1名

02 桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付されます。

2015年度 1名 50万円

03 桐朋学園音楽部門芸術教育整備・拡充資金及び奨学基金

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生・生徒に給付されます。

2019年度 1名 授業料一部（30万円）免除（大学院生）

04 宗次徳二桐朋学園大学院 大学院特待奨学金

宗次徳二氏の寄附により設立され、成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付されます。

2025年度 5名 各120万円

05 桐朋学園音楽部門同窓会奨学金

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって就学が困難な大学2年生を対象に給付されます。

2025年度 7名 各10万円

06 チェロアンサンブル・サイトウ奨学金

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付されます。

2025年度 4名 各10万円
(学部生1名、修士1名、ソリスト・ディプロマ生2名)

07 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金「江崎スカラシップ」

江崎正道氏の寄附による留学支援奨学金。大学生以上のピアノ専攻生が対象。在学中に海外高等教育機関へ留学をする者に一人当たり500万円が支給されます。

2025年度 ソリスト・ディプロマ生4名

【その他の奨学金】※給付、貸与など、様々な奨学金があります。

- 日本学生支援機構奨学金
- 各都道府県・地方公共団体奨学金
- 企業、交通遺児育英会等の奨学金

入試情報

本学は、以下3つをアドミッション・ポリシーとして、入学者に求める学生像の方針を定めています。

- ・音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

夏期・冬期講習

受験準備のための講習会を、夏期と冬期に開催しています。入試に準じた模擬試験や、大学受験コースでは入試時に試験科目が免除になる認定試験（夏期講習のみ）を実施しています。

夏期講習

7/27～7/30

受講申し込み期間：6/8～6/25

講習科目：a.専攻実技（模擬試験、個人レッスン）
b.新曲視唱・聴音（模擬試験、授業、相談）c.楽典（模擬試験、授業、相談）d.和声【作曲・指揮のみ】（授業）
e.副科ピアノ（演奏と講評）f.作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（模擬試験、個人レッスン）

冬期講習

12/26～12/27

受講申し込み期間：11/2～11/20

講習科目：a.専攻実技レッスンb.新曲視唱・聴音（模擬試験、授業）c.楽典（模擬試験、授業）d.和声・作曲授業【作曲・指揮のみ】e.副科ピアノ（演奏と講評）f.作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（演奏と講評）

募集要項		募集専門・専攻・コース	願書受付	試験日	合格発表
桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）	推薦 第一種入学試験（一般）	管楽器／打楽器／ハープ／声楽／作曲	1/15	1/22	1/22
	推薦 第二種入学試験（男子部・女子部*）	ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／声楽／作曲（大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む）	1/15	1/22	1/22
	一般 入学試験	ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／声楽／作曲	1/25～28	2/13～15	2/17
桐朋学園大学 音楽学部	総合型 特待生Ⅰ期		10/1～8	一次試験：書類審査（合格発表：10/22） 二次試験：11/7	11/11
	総合型 特待生Ⅱ期	ピアノ／弦楽器	11/9～19	一次試験：書類審査（合格発表：11/30） 二次試験： <u>ピアノ</u> 12/15 <u>ピアノ以外</u> 12/16	12/18
	総合型 飛び入学		11/9～19	一次試験：書類審査（合格発表：11/30） 二次試験： <u>ピアノ</u> 12/15 <u>ピアノ以外</u> 12/16	12/18
	A日程		9/14～28	10/31～11/1	11/11
	B日程		2/17～3/12	3/20	3/20
	外国人留学生	ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／声楽／指揮／作曲／ミュージコロジー	9/14～28	10/31～11/1	11/11
	一般 一般・編入		1/6～15	2/9～13	2/17
桐朋学園大学 大学院 音楽研究科	修士 秋期入学	ピアノ／弦楽器／声楽／作曲／音楽学	7/1～6	7/27～28	7/29
	修士 A日程	ピアノ／弦楽器／声楽／作曲／音楽学／室内楽／ソルフェージュ教育	10/1～8	11/7～8	11/11
	修士 B日程		2/17～3/12	3/20	3/20
	外国人留学生入試	ピアノ／弦楽器／声楽／作曲／音楽学	10/1～8	11/7～8	11/11
	博士 博士後期課程	ピアノ／弦楽器／声楽／作曲／音楽学	1/6～15	2/1～2	2/3
ディプロマ・コース	ソリスト・ディプロマ	ピアノ／ヴァイオリン／チェロ／フルート／声楽	11/9～19	<u>ピアノ</u> 12/15 <u>ピアノ以外</u> 12/16	12/18
	カレッジ・ディプロマ	ピアノ／弦楽器／管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／声楽／指揮／作曲／ミュージコロジー	2/1～10	2/26	3/5

【その他コースのご案内】

桐朋学園には、高校・大学以外にも多様な学びの場があります。ディプロマ・コースでは、実技中心の専門教育に特化し、他校とのダブルスクールも可能です。大学卒業後も専門性を深められる研究生制度や、実技以外の科目を履修できる科目等履修生制度もあります。オープン・カレッジでは桐朋学園大学の教授・講師陣による指揮のレッスンを受講できます。

■ 研究生

募集コース：管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／指揮
募集資格：大学音楽学部卒業以上
願書受付：1/6～15（管・打楽器：2/1～10）
試験日：2/5～9（管・打楽器：2/26）
合格発表：2/17（管・打楽器：3/5）

■ 科目等履修生

募集資格：高等学校卒業以上
願書受付：3/8～11
試験日：3/26
合格発表：3/29

■ オープン・カレッジ

募集コース：指揮
募集資格：高等学校卒業以上
願書受付：2/1～10
試験日：2/26
合格発表：3/5

■ Visiting Student Course

外国人留学生入試以外にも、留学生が音楽を学び、実践的な経験を積むことができる2種類のプログラムがあります。いずれも本学指導陣によるレッスンが中心です。

詳細は本学ホームページ
(<https://tohomusic.ac.jp/college/admissions/>) をご覧ください。



Access Map

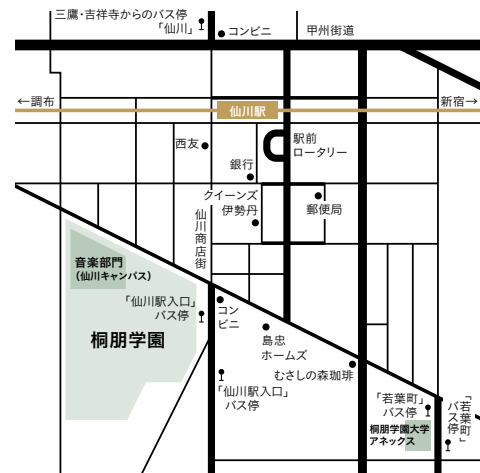
アクセスマップ

仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
TEL.03-3307-4101 (代表) FAX.03-3307-4001

- ・京王線「仙川駅」より徒歩約5分
- ・小田急線「成城学園前駅」よりバス約15分
- ・JR中央線「吉祥寺駅」よりバス約25分
- ・JR中央線「三鷹駅」よりバス約30分

▶ 仙川駅からのご案内

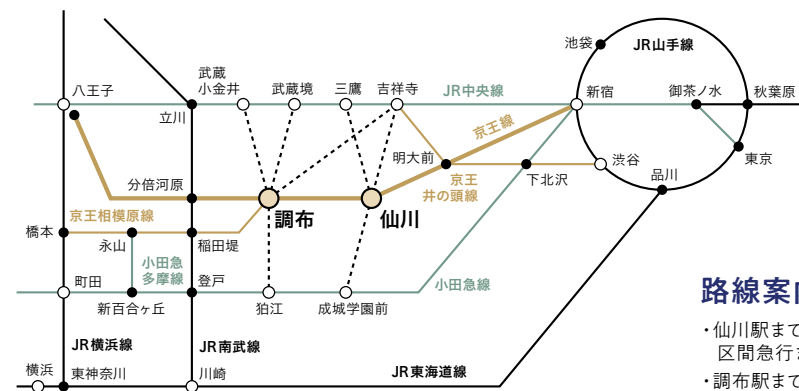
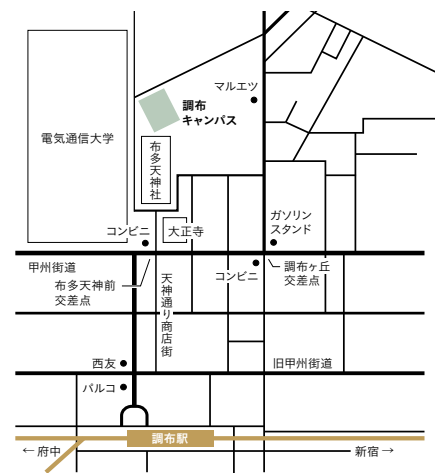


調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1
TEL.042-444-7055 (代表) FAX.042-444-7056

- ・京王線「調布駅」より徒歩約10分

▶ 調布駅からのご案内



路線案内

- ・仙川駅まで京王線「新宿駅」より
区間急行または快速で約18分
- ・調布駅まで京王線「新宿駅」より特急で約18分

本学ホームページはこちら ▶ <https://www.tohomusic.ac.jp/>



桐朋学園大学 音楽学部
桐朋女子高等学校 音楽科
(男女共学)

仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
TEL.03-3307-4101 FAX.03-3307-4001

調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1
TEL.042-444-7055 FAX.042-444-7056

<https://www.tohomusic.ac.jp/>